

第3期

未来創造塾

大分都市広域圏



大分都市広域圏 政策研究チーム「第3期未来創造塾」
2025政策提案報告書

取組期間 令和6年1月19日～令和8年3月31日

人と地域を未来につなぐ大分都市広域圏

～温泉や南蛮文化など多彩な地域資源を活かした創造都市圏を目指して～

目次

■ 本 編

- P. 1 ～はじめに～ 連携中枢都市圏構想について
- P. 2 ～はじめに～ 大分都市広域圏の形成について
- P. 3 大分都市広域圏政策研究チーム「第3期未来創造塾」
・「未来創造塾」の構成について
・「第3期未来創造塾」開講式（令和6年1月19日）
・第1回「未来創造塾」会議の開催（令和6年1月19日）
・両チーム合同の合宿開催（令和6年2月9日）
- P. 6 「第3期未来創造塾」活動経過
・塾生会議等の開催（令和6年2月～10月）
・豊後大野市 川野市長による講話（令和6年7月24日）
・塾長と先輩塾生によるミニシンポジウム（令和6年7月24日）
- P. 9 大分都市広域圏推進会議『中間報告』
・令和6年度大分都市広域圏推進会議で中間報告（令和6年11月22日）
・中間報告資料（A班およびB班）
- P. 15 「第3期未来創造塾」活動経過
・臼杵市先輩職員による講演（令和7年1月21日）
・塾生会議等の開催（令和6年12月～令和7年10月）
- P. 17 大分都市広域圏推進会議『政策提案』
・令和7年度大分都市広域圏推進会議で政策提案（令和7年11月14日）
- P. 19 ・政策提案資料（A班）
- P. 31 ・政策提案資料（B班）
- P. 40 ・各市町の首長によるコメント
- P. 41 政策提案後の取組
・地方創生☆政策アイデアコンテスト2025への応募
・神戸市職員による講演（令和8年2月25日）
・「第3期未来創造塾」修了式（令和8年2月25日）

■ 資 料 編

- P. 44 Aチーム「Creoita」（クリエイター）プロフィールと感想
- P. 46 Bチーム「Team Noctas!」（チームノクタス）プロフィールと感想
- P. 48 「第3期未来創造塾」塾生名簿（令和8年3月31日時点）
- P. 49 大分都市広域圏ホームページ
- P. 50 大分都市広域圏政策研究チーム「未来創造塾」設置要綱

～はじめに～

連携中枢都市圏構想 について

連携中枢都市圏構想とは、人口減少・少子高齢社会にあっても、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携することで、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する政策です。

この制度は第30次地方制度調査会「大都市制度の改革及び基礎自治体の行政サービス提供体制に関する答申」を踏まえて制度化したものであり、大分都市広域圏は2016(平成28)年3月に全国で10番目の圏域として形成。2025(令和7)年4月1日現在では、全国で38の圏域が形成されています。

「連携中枢都市圏構想」の概要について

- 令和7年4月1日時点で、全国で38圏域が形成されている。

連携中枢都市圏の取組の推進

連携中枢都市圏の意義とは

- 地域において、**相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成**

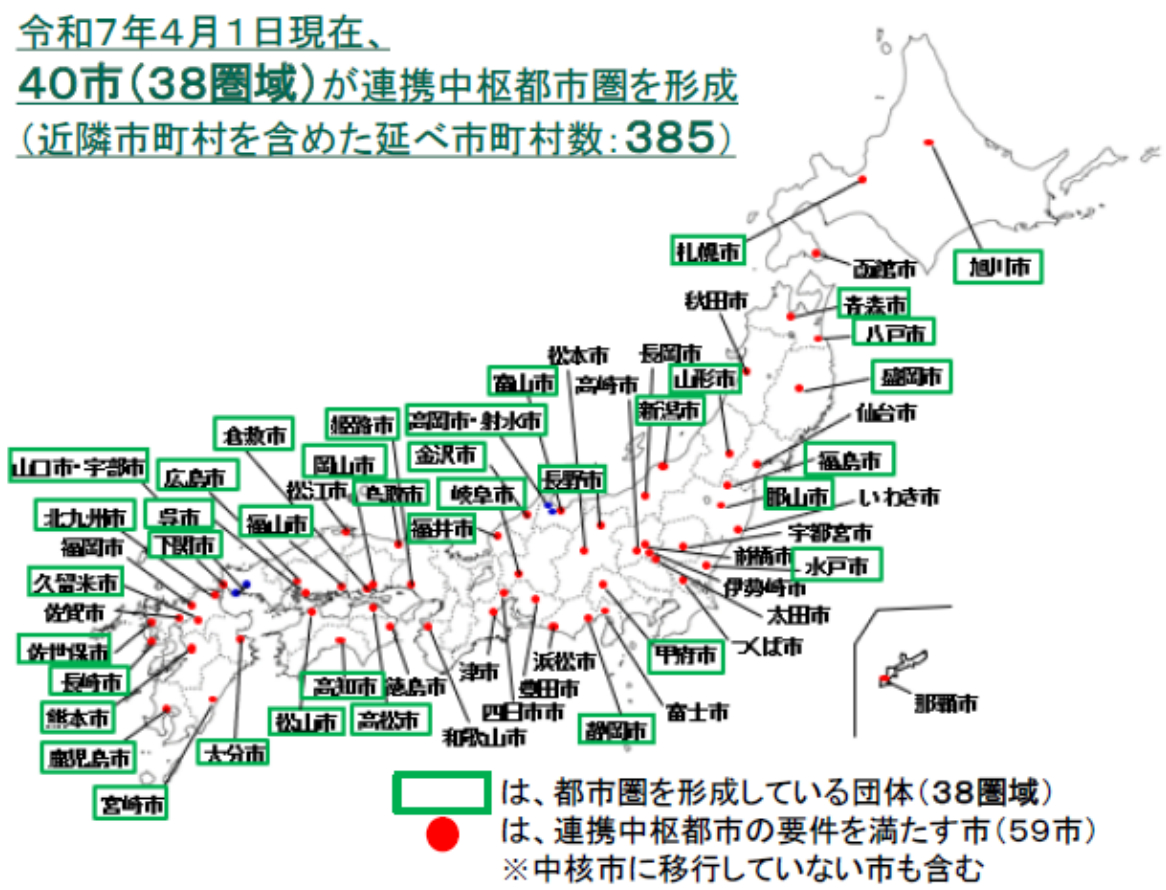
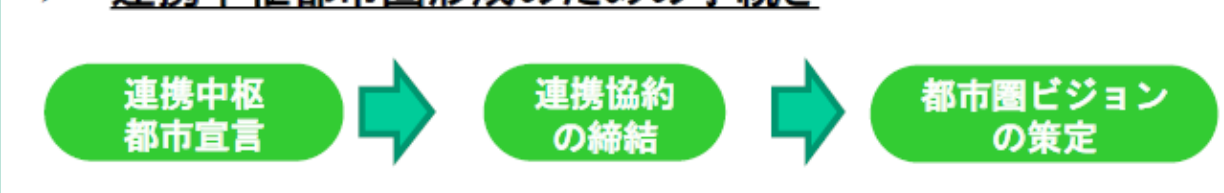
連携中枢都市圏に何が求められているのか

- ① **圏域全体の経済成長のけん引**
産学金官の共同研究・新製品開発支援、六次産業化支援 等
- ② **高次の都市機能の集積・強化**
高度医療の提供体制の充実、高等教育・研究開発の環境整備 等
- ③ **圏域全体の生活関連機能サービスの向上**
地域医療確保のための病院群輪番制の充実、
地域公共交通ネットワークの形成 等

連携中枢都市圏をいかに実現するか

- **地方自治法を改正し、地方公共団体間の柔軟な連携を可能とする「連携協約」の制度を導入** (平成26年11月1日施行)
- 平成26年度から、**連携中枢都市圏の形成等を推進**するため、国費により支援
- 平成27年度から、**地方交付税措置を講じて全国展開**

連携中枢都市圏形成のための手続き



【連携中枢都市圏とは】
地方圏において、昼夜間人口比率おおむね1以上の指定都市・中核市と、社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏

※ただし、隣接する2つの市(各市が昼夜間人口比率1以上かつ人口10万人程度以上の市)の人口の合計が20万人を超え、かつ、双方が概ね1時間以内の交通圏にある場合において、これらの市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏についても、連携中枢都市圏と同等の取組が見込まれる場合においては、これに該当するものとする。

出典：総務省ホームページ

～はじめに～

大分都市広域圏の形成 について

国が提唱する「連携中枢都市圏構想」に沿い、2016(平成28)年3月に大分市を連携中枢都市として、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町のそれぞれと連携協約を締結し、「大分都市広域圏」を形成しました。2026(令和8)年3月には、佐伯市と大分都市広域圏への加入に係る連携協約を締結し、9市町の新たな圏域を形成。圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に向け、各市町との連携による取組を一層推進していくこととしています。

「大分都市広域圏」の概要について

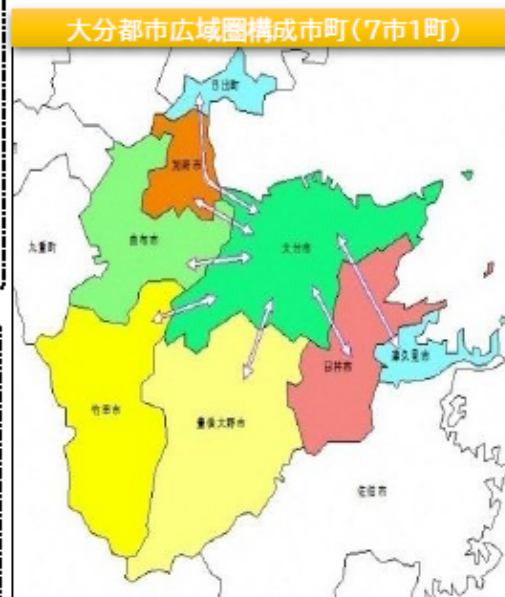
- 【名称】 大分都市広域圏
- 【構成市町】 大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町（7市1町）
- 【人口】 757,715人（令和2年の国勢調査人口による）
- 【計画】 第2期大分都市広域圏ビジョン
- 【取組期間】 2021（令和3）年4月～2026（令和8）年3月の5年間



大分都市広域圏の取組

圏域形成に至った経緯

- ・大分市の周辺市町である別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町の7市1町で、人口減少社会においても有機的な連携による活性化を図る目的で、各市町が単独では解決できない課題等について協議を行った。
- ・総務省「新たな広域連携モデル構築事業」モデル都市に選定され、大分都市広域圏推進会議等で協議を重ねて、平成28年3月に連携する7市1町と連携協約の締結及び大分都市広域圏ビジョンの策定を行った。



今後の展開

- ・社会情勢等の変化を踏まえ、「第2期大分都市広域圏ビジョン」(取組期間:令和3年4月～令和8年3月)を令和2年度に策定した。また、佐伯市を新たに加えた「第3期大分都市広域圏ビジョン」の策定に向け、検討を進めている。
- ・引き続き各専門部会で協議し新規事業の構築や既存事業のブラッシュアップを行っていくとともに、実績の少ない取組項目については、連携市町と積極的に協議を行って行く中で事業の掘り起しを進めていく。
- ・31連携事業のフォローアップとさらなる推進を実施し、KPIの達成に向けて取組みを進める。

圏域全体の経済成長のけん引

歩行者天国実施事業

大分駅北側を南北に走る市道を歩行者天国として活用し、イベント等の開催や、連携市町の観光情報等のPRや特産品等の販売を行うブースを設置することにより圏域の情報発信を行う。



〔大分市中央通り歩行者天国〕

若手起業家育成事業

学生等若年層の創業マインドの醸成及びシーズの発掘と育成を通して、地域定着と雇用創出を図る。

高次の都市機能の集積・強化

消防指令業務の共同運用

消防指令業務の共同運用を行うことで設備・運用に係る財政・人員負担の軽減に加え、災害情報・活動情報の一元管理による相互応援の迅速化等を目指すもの。圏域市町を含む全県1区で、令和6年10月に本格運用を開始。



〔おおいた消防指令センター〕

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

おおいた公共施設案内・予約システムの運用

圏域内の体育・文化施設等を相互に利用できるよう公共施設案内・予約システムを導入。令和7年2月のシステムリニューアルにより、マイナンバーカードを活用したオンライン利用者登録や、オンラインキャッシュレス決済の機能を新たに実装。今後もシステムでの予約・案内が可能な公共施設を増やし、圏域住民が気軽に公共施設を利用できることを目指す。

一般廃棄物処理施設(新環境センター)整備事業

大分市が予定する新たな一般廃棄物処理施設(新環境センター)の整備について、圏域6市から構成される専門部会を設置し、平成29年度から広域処理に向けて検討をはじめ、令和9年度中の稼働開始を目指す。

未来創造塾

圏域自治体の若手職員がチームを作り、圏域が抱える課題の調査・研究を自主的に行い、課題解決に向けた施策を圏域の首長会議で提案する。



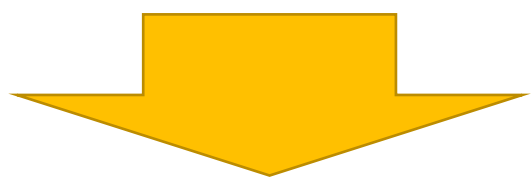
〔首長会議での政策提案の様子〕

大分都市広域圏 政策研究チーム「第3期未来創造塾」

「大分都市広域圏ビジョン」に掲げる「人材育成・交流」事業として、圏域で抱える課題について自主的に調査・研究を行い、課題解決に向けた施策の提案を行うこと、また、これにより圏域の将来を担う人材の育成を目的とし、政策研究チーム「第3期未来創造塾」を令和6年1月に立ち上げました。

「未来創造塾」の構成について

- 【対象職員】 概ね35歳以下の職員
- 【構成人員】 大分都市広域圏の連携市町全体で16名（各市町2名ずつ選出）
- 【所掌事務】 若手職員による政策研究チームが圏域で抱える広域的な課題や全国の先進的な取組について、自主的に調査・研究を行い、その課題解決に向けた事業提案を行う。
※ なお、首長が出席する大分都市広域圏推進会議において提案事業が採択された場合、連携市町の担当部局において事業の実施に向けた取組を推進する。
- 【塾生任期】 令和6年1月～令和8年3月末日（約2年を1期間とする）
- 【チーム編成】 大分都市広域圏の連携市町全体で2チーム



若手職員16名による「第3期未来創造塾」がスタート！

「第3期未来創造塾」開講式（令和6年1月19日）

令和6年1月19日、大分市役所で大分都市広域圏推進会議の会長である足立信也 大分市長の開講宣言のもと、二代目塾長（大分市企画課広域連携推進室長 池見 誠）と7市1町の若手職員16名の塾生で構成される「第3期未来創造塾」が開講しました。開講式では、塾生を代表して由布市の佐藤さんが塾生の辞令を受けとり、その後、臼杵市の橘さんが今後の取組に向けた力強い決意表明を行いました。



【大分都市広域圏 政策研究チーム「第3期未来創造塾」】



足立会長から辞令を受け取る
佐藤さん（由布市）



決意表明を述べる
橘さん（臼杵市）



足立会長から辞令を受け取る
池見塾長（大分市）

第1回「未来創造塾」会議の開催（令和6年1月19日）

開講式の後、第1回目の未来創造塾を開催しました。今回は、池見塾長から大分都市広域圏の形成などについて講話があった後、各チームに分かれて、自己紹介やリーダー決めを行いました。



【塾長（大分市企画課 広域連携推進室長）による講話】



二代目[塾長]となった池見さん（大分市）

各チームのリーダーは、**Aチームは大分市の廣瀬さん**、**Bチームは別府市の中田さん**に決定。

次回の会議の日程や研究テーマの決定方法などについてリーダーを中心として約2時間の協議を行いました。



Aチーム リーダー
【大分市 廣瀬さん】



【Aチーム 会議の様子】



Bチーム リーダー
【別府市 中田さん】



【Bチームの会議の様子】



両チーム合同の合宿開催（令和6年2月9日）

各チームに分かれて会議を進める前に、両チーム合同の合宿を開催しました。

エビデンスに基づく政策立案の重要性について説明をした後、各グループで「私たちのまちの良いところ・足りないところ」について、意見を出し合いながら、それぞれの町についての理解を深めてもらいました。



その後は、AチームとBチームに分かれ、研究テーマについて池見塾長からのアドバイスをいただきながら検討を始めました。また、チーム名の検討も行いました。



● 各チームの名称が決定

Aチームの名称は「**Cre∞ita**」（クリエイター）に決定

“大分” ” 8自治体” ” 無限の広がり” ” 創造する集団” 等のイメージを表現しています。

Bチームの名称は「**Team Noctas !**」（チーム ノクタス）に決定

「Oitaで新しい（New）創造的な（creative）政策提案（solution）をしていきたい」という思いから。また、メンバーのイニシャルも含まれています。

「第3期未来創造塾」活動経過

塾生会議等の開催（令和6年2月～令和6年10月）

《 調査研究の進め方 》

- ・ 月1回程度集合し、会議を行う
- ・ 日時や場所等は、業務の都合に合わせて、塾生が決める（塾生同士の主体的な集まり）
- ・ 会議開催後、すみやかに報告書をまとめ事務局に提出する
- ・ 事務局（大分市企画課）は、2カ月に1回程度、進捗状況の管理を行う

● 調査研究テーマの方向性を各チームで検討

圏域で抱える広域的な課題の解決に向けて、各チームごとに研究テーマを設定。所属自治体の取組などをメンバーと共有しながら、調査分析を行いました。

また、会議は各自治体の持ち回りにて開催。それぞれの地域を訪れることで、現状把握にも努めました。



Aチーム（Creoita）の会議の様子



Bチーム（Team Noctas!）の会議の様子

豊後大野市 川野市長による講話（令和6年7月24日）

令和6年7月24日、豊後大野市役所にて、「『持続可能な豊後大野市づくり』を目指して」と題して、豊後大野市 川野 文敏 市長から講話をいただきました。



豊後大野市 川野 文敏 市長



講演の様子

「豊かな暮らしと仕事を創る」「豊かな人を育む」「豊かな自然・地域を未来へつなげる」という豊後大野市の3つの基本政策について、豊後大野市の特色を生かした取組事例なども交えながらご講演いただきました。

講演には未来創造塾の塾生のほか、豊後大野市の採用1年目から3年目を中心とした若手職員も参加。川野市長が進める政策への理解を深めました。

講演終了後は質疑応答を行いました。津久見市 高木さんから「市長が若手職員に期待することは何か」と質問。川野市長から「まずは先輩職員とともにスキルを上げること」というアドバイスや「みなさん自治体職員が本気を出せばまちが変わる」などの力強いお言葉もいただきました。



市長が若手職員に期待することを教えてください!!

本気を出せば皆さんのまちが変わります!



川野市長へ質問する津久見市 高木さん



塾長と先輩塾生によるミニシンポジウム（令和6年7月24日）

豊後大野市 川野市長にご講演いただいた後は、塾長と先輩塾生によるミニシンポジウムを開催しました。

第1部は、初代塾長の小野 晃正さん（大分市）のほか、先輩塾生である別府市情報政策課の五十川 貴盛さん、津久見市会計財務課の川野 貴志さん、日出町財政課の財津 良平さんに登壇していただき、パネルディスカッションを行いました。先輩塾生からは、塾生時代に苦労したことや工夫したことなど、当時を思い出しながら話をしていただきました。



パネルディスカッションの様子

第2部は、先輩のみなさんに各グループに分かれてもらい、塾生との意見交換を行いました。

塾生からは、中間報告に向けた進め方やスケジュール、提案に当たってのエビデンスの収集方法などについて、先輩塾生からのアドバイスをいただくことができました。



大分都市広域圏推進会議『中間報告』

令和6年度 大分都市広域圏推進会議で中間報告（令和6年11月22日）

令和6年11月22日、各市町の首長が集まる「大分都市広域圏推進会議」の中で、テーマ設定などについて中間報告を行いました。各首長からは、若手職員からの提案に期待する意見をいただきました。

- 【会議名】 令和6年度 大分都市広域圏推進会議
【開催日】 令和6年11月22日（金）10時～
【開催場所】 ホテル日航大分オアシスタワー5階 孔雀の間



会議の様子



発表の様子

●各市町の首長による主なコメント

雇用・就労について、津久見市では、地元の高校生に、地元の企業の仕事内容に触れていただく場を設けていますが、人と企業との出会いは、本当に地道な活動が必要になります。

皆さんに考えていただく内容が新たに加わることで、より多角的に企業とマッチングする場が広がるのではないかと思いますので、提案を期待しております。

地域の魅力発信について、地域コミュニティ機能の低下について触れています。小さな地区がその機能を失い、消滅するような地域も出つつあります。

こうした課題はどの自治体も持っていると思いますので、その辺をハード面だけではなくて、ソフト面で機能低下を防げるような仕組みを広域連携でできれば一番良いと思います。

防災について、竹田市では福祉避難所のキャパシティが少ない状況にあります。職員の数も少なく、あまり避難者を受け入れできないため、実際に災害が発生した際にどのように対応するのが大きな課題です。

この問題を連携の力で解決できないかと考えておりますので、ぜひその辺の検討をしていただけるとありがたいです。

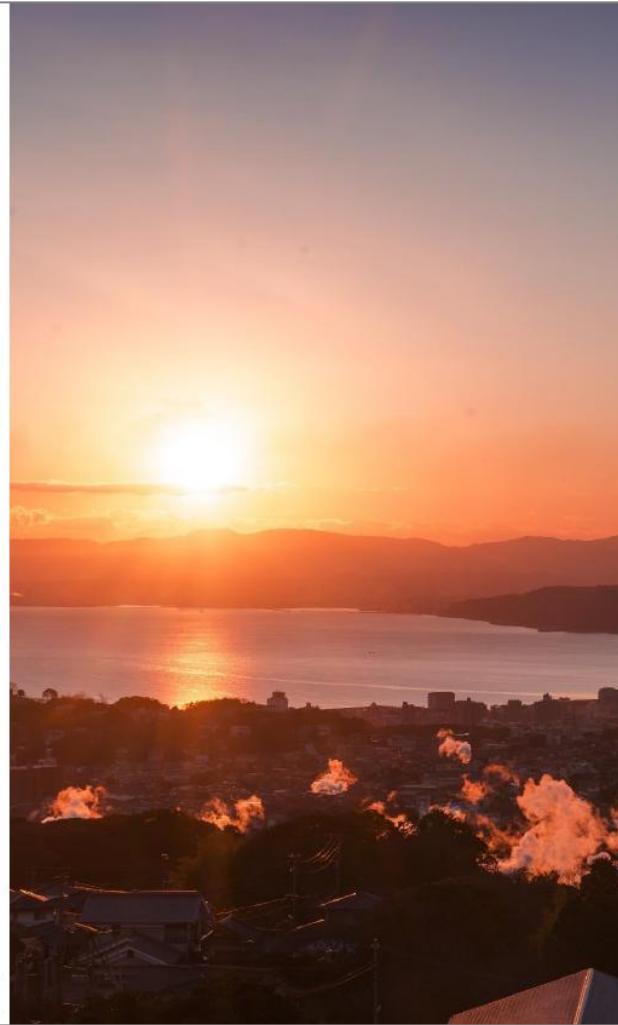
大分都市広域圏の一番良い点というのは、やはり皆さんの存在だと常に思っています。

皆さんがそれぞれ全く違う市町に住みながら、自分たちの範疇ではないところに飛び出して、お互いがそれぞれやっていることを学習し合うことができるというのが将来につながる一番の宝です。

色々と自分たち以外のところを知ることによって、そこからイノベーションが起きていくのだろうと思います。だから皆さんが宝です。ぜひ、お互いが刺激しあってほしいです。

第3期未来創造塾（A班） 中間報告

大分市	廣瀬	秀志
別府市	甲斐	大地
臼杵市	橘	俊吾
津久見市	梶田	正法
竹田市	久良	伊武希
豊後大野市	橋本	卓
由布市	佐藤	亜美
日出町	小林	祐介



「Cre∞ita」

2024年11月22日

01 チーム名について

02 テーマ設定について

チーム名について

A班のチーム名はCre∞ita（クリエイター）に決定

チーム名設定理由

クリエイター

「Cre∞ita」



大分県内の8（エイト）市町で形成される大分都市
広域圏で、連携を実施



近年の著しく変化する社会情勢について、8市町の職員
で無限（∞）の可能性について調査・研究を実施



創造（クリエイイト）する集団として、持続可能な
政策立案を実施

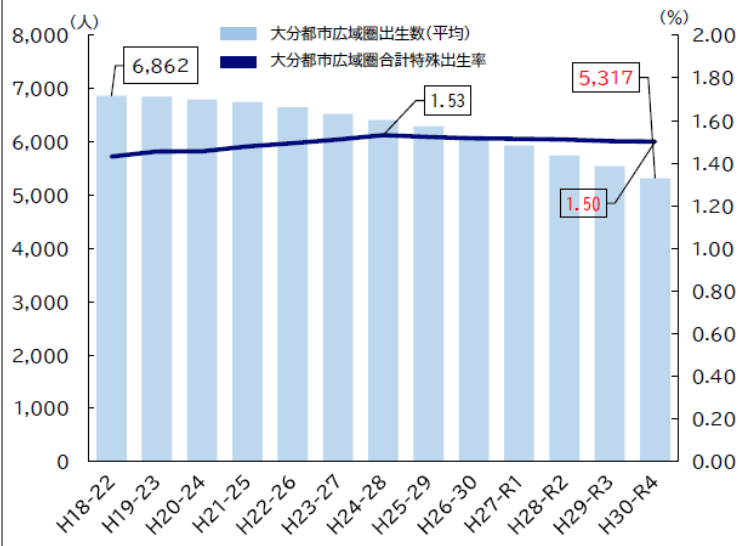
● 中間報告資料 (A班)

テーマ設定について

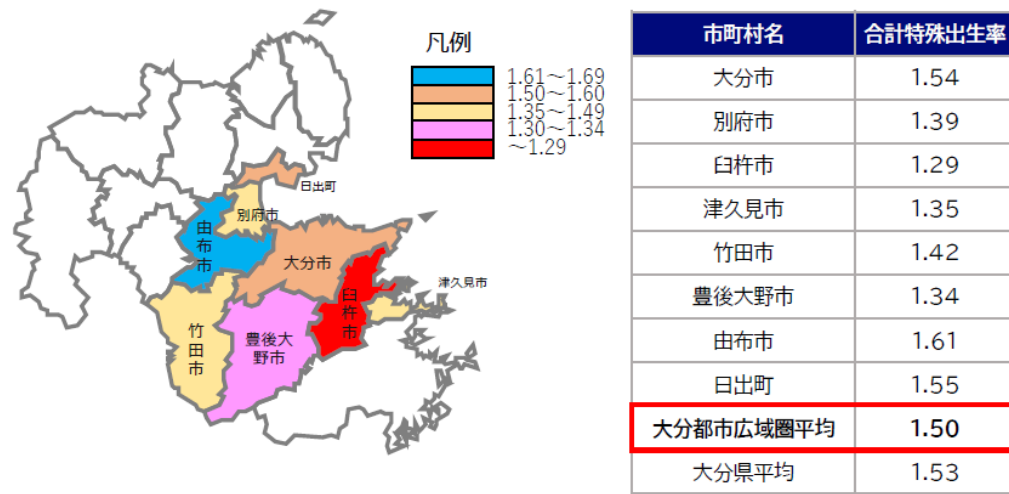
大分都市広域圏の中心課題は人口減少と捉え、テーマ設定を行った

- 合計特殊出生率（15歳～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの）は、減少傾向にあり微増減を繰り返し平成30年～令和4年の間では1.50となっている。
- 出生数をみると、減少傾向にあり、令和4年には、5,317人と、平成18年(6,856人)の**77.6%**の水準になっている。
- 現在の人口を維持するためには、合計特殊出生率が2.07以上を保つことが必要ななか、1.50であり人口減少は深刻化していることがわかる。そのため、**中心課題を人口減少と捉え、テーマを設定**

出生数・合計特殊出生率の推移



令和4年大分都市広域圏市町別合計特殊出生率



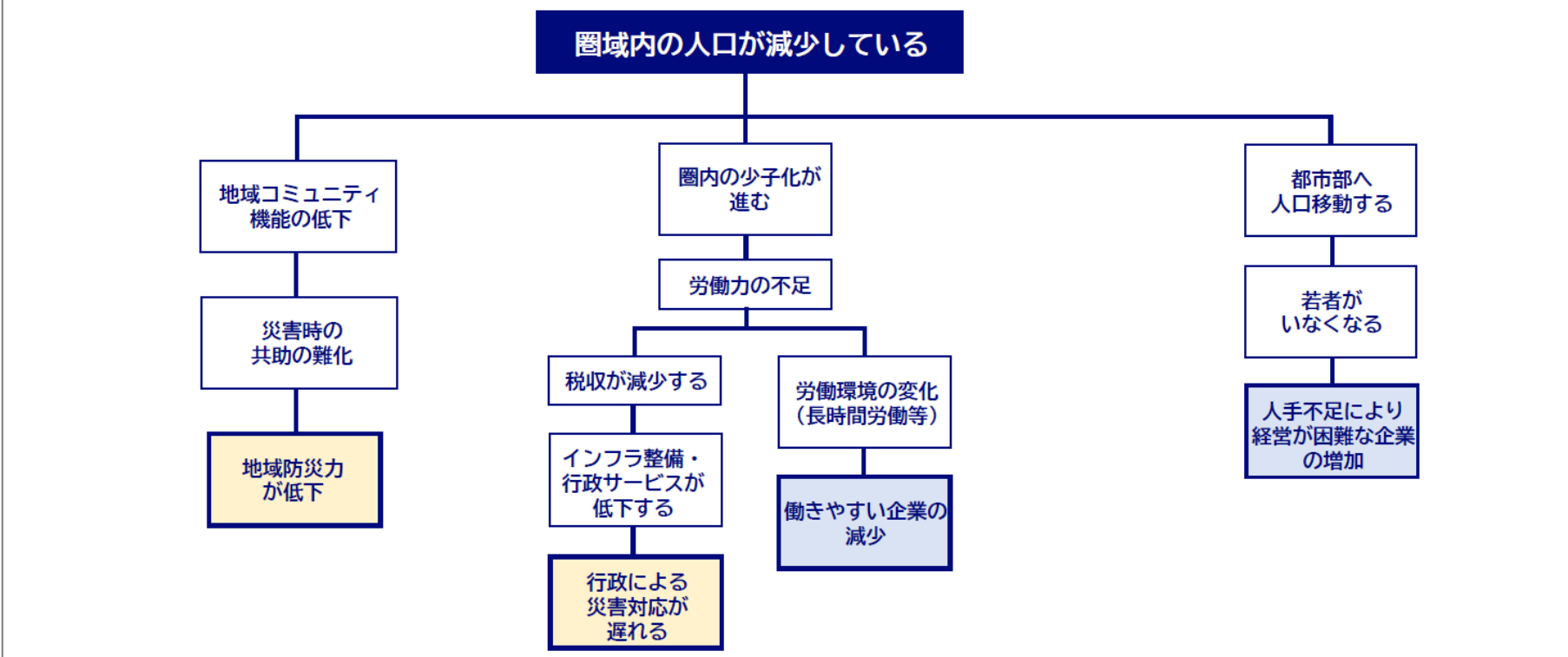
注) 合計特殊出生率については、出生数の少なさに起因する偶然性の影響のため、数値が不安定となる問題があり、5年間の平均として算出することにより、比較が可能な指標としている。基準人口は、中心年10月1日現在の人口推計又は国勢調査

(出所) 人口動態統計より作成

テーマ設定について

「雇用・就労」・「防災」をテーマとして設定

- 圏内の人口減少における各フェーズの課題を整理。「なぜ人口減少しているのか」の問いを繰り返し、テーマを見出した
- 多くの意見が出た「**防災**」及び「**雇用・就労**」をテーマとして設定

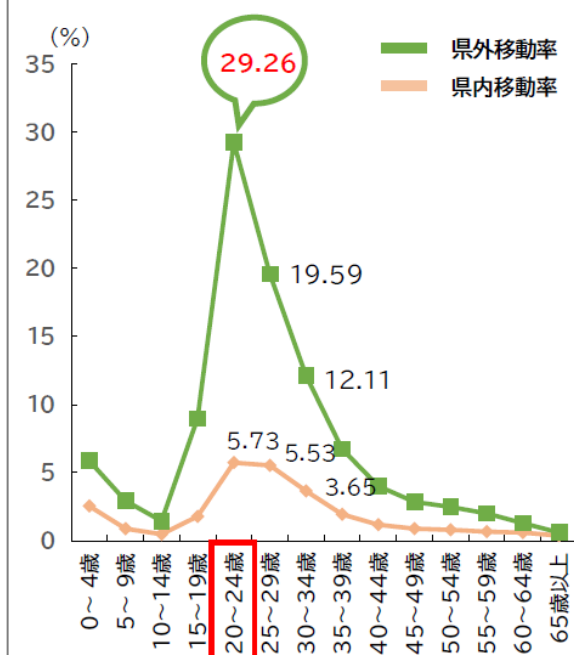


テーマ①雇用・就労について

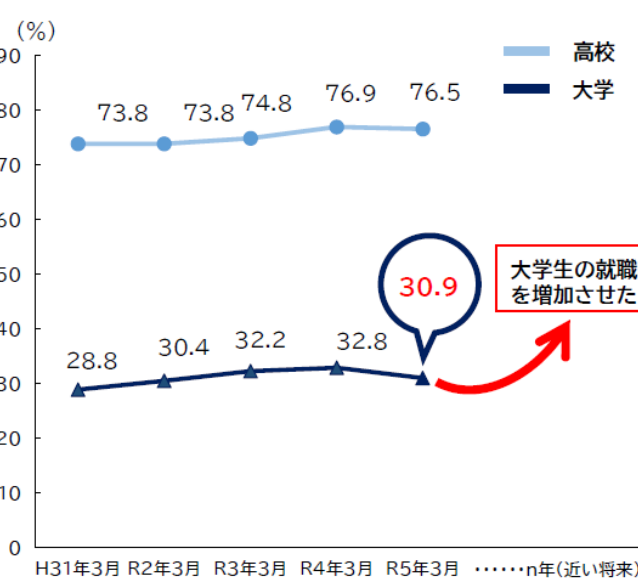
～現状と課題～

- 県内移動者・県外移動者ともに20歳代の移動が多く、特に県外移動者数は20～24歳が13,441人（県外移動率**29.26%**）で最も多くなっている。
- 大分県内に在学する大学生の県内就職率は、令和5年では**30.9%**と、高校生の76.5%と比較すると低調。
- 令和5年の大分県内4大学の県内就職率も大分大学を例に見ると、1,143人中470人（41.1%）となっている。

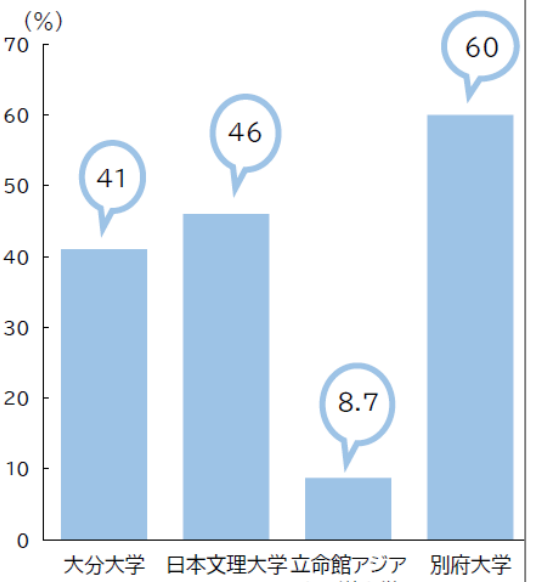
大分県年齢別移動率(令和5年)



県内就職率の推移



県内大学別就職率(令和5年)



(出所) 大分県の人口推計報告令和5年版
令和5年度大分県新規学卒者実態調査報告書

(出所) 各大学HPより

● 中間報告資料 (A 班)

テーマ①雇用・就労について

仮説

- 大学生は、地元就職を考えるきっかけが不足しているのではないか。
- 大学生は、圏域内の地場企業の魅力を見つけることができていないのではないか。
- 大学生は、地元就職を促進する既存の就職支援を上手く活用していないのではないか。

施策の方向性

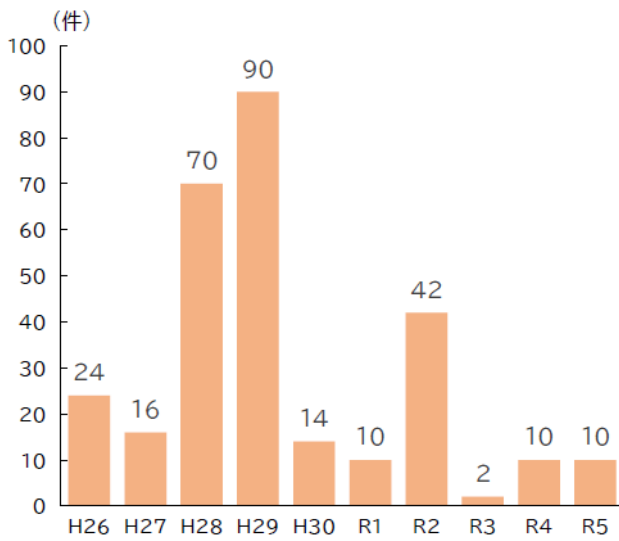
- [産][官][学]が連携し、大学生のより身近な場所で、圏域内の地場企業と触れ合える仕組みを検討
- 大学生が就職活動を行う際に、既存の就職支援に触れる機会を増やす仕組みの検討

テーマ②防災について

～現状と課題～

- 県内の土砂災害件数は平成26年～令和5年までの10年間で289件発生している。また、土砂災害の恐れのある箇所は23,250件と多くなっている。
- 要対策箇所の土砂災害対策施設整備率は約30%に留まっている。
- 県民意識調査の結果では、「災害に関する情報の迅速で確実な伝達」を求めている住民が多い。
- 人口減少が進むなか、限られた人員・資源で効果的な対策が必要となっている。

土砂災害発生件数



土砂災害対策施設整備率 (R6.3月時点)



県民意識調査

⑤防災・減災対策

1位対: 災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備

1位対: 災害に関する情報の迅速で確実な伝達 (54.5%)

3位: 自力での避難が困難な方の支援体制づくり (38.7%)

(出所) おおいたの砂防 (令和6年度) 大分県 県民意識調査

テーマ②防災について

今後の研究の進め方

- 大分県及び圏域内における既存の防災対策や今後の展開について情報収集を行う。
- 防災分野等の専門家にヒアリングを行い、圏域内における課題の洗い出しを行う。

現状及び課題を改めて整理し、施策の方向性を設定して政策提案を行う。

【ヒアリング候補】

- 大分大学 減災・復興デザイン教育センター (CERD)
- 熊本大学 ましきラボ

TEAM NOCTAS!

第3期 未来創造塾 (B班)

政策立案
中間報告

令和6年11月22日

New Creative Solution
新しい創造的な政策提案を
Oita

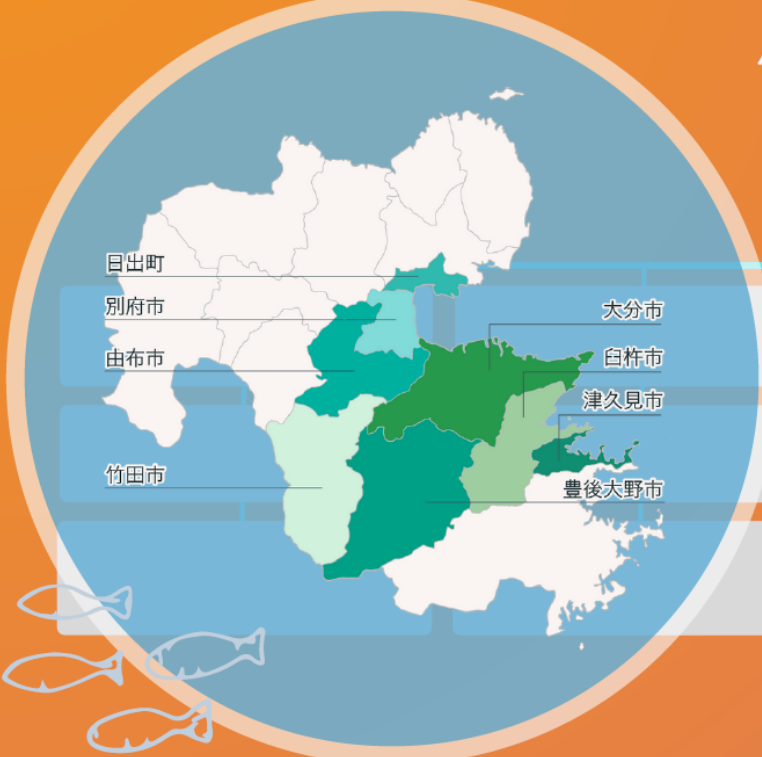
第3期未来創造塾

01

01:現状分析:ロジックツリー

大分都市広域圏

現状分析 【困難に直面している人】に向けた政策立案を



バッドエンド

地域の消滅

中心課題

地域が衰退する

定住・関係人口が減少

出生数の減少

愛着・関心がない

子育てが不安

地域の魅力が知られてない

支援が不十分

▶ テーマ1：
地域の魅力発信

▶ テーマ2：
子育て支援の充実

第3期未来創造塾
現状分析

02

02:テーマ1：地域の魅力発信

大分都市広域圏

Q1.行ってみたい都道府県は？

順位	都道府県
1位	北海道
2位	京都府
3位	沖縄県
36位	大分県

出典：地域ブランド調査2022調査概要

Q2.行って良かった都道府県は？

順位	都道府県
1位	大分県
2位	鹿児島県
3位	北海道
4位	岩手県

出典：じゃらん宿泊旅行調査2023

➡ 一度来てもらえたら、継続的に来てもらえるポテンシャルを秘めているのでは...

第3期未来創造塾
テーマ1

03

02:テーマ1：地域の魅力発信 大分都市広域圏

第3期未来創造塾

関係人口と地域住民の協働による地域の活性化

*地域住民が圏域の魅力を伝える

現状分析

分析1 地域の独自性が失われる
・地域資源の継承が担い手不足により困難

分析2 地域経済の縮小
・地元商業やサービス業の維持が困難

分析3 地域コミュニティ機能の低下
・社会機能が低下し、地域生活が不安定に

今後検討していきたいこと

圏域外の住民と地域住民との持続的な関係性を構築するため、

- ・圏域の地域資源（伝統・食文化など）を伝える体験プランを策定し、新たな人の流れをつくる。
- ・地域住民による継続的に訪れてもらうための受入体制を整備。

テーマ1
04

03:テーマ2：子育て支援の充実 大分都市広域圏

第3期未来創造塾

Q1.居住地の子育て環境や支援への満足度

満足している	11.8%
概ね満足している	53.6%
あまり満足していない	24.7%
満足していない	7.7%

Q2.住んでいる地域の子育て環境や支援に満足していない理由

子育てを支援する施設やサービスが不足	57.4%
こどもが安心して遊べる場所が少ない	48.8%
親子で気軽に出かけられる場所（居場所）がない	47.0%
医療費や保育料などの経済的支援が不足	45.0%

Q3.理想よりも子どもの数が少ない理由

お金がかかりすぎる	71.1%
仕事が忙しい	26.7%
これ以上、子育ての心理的・肉体的負担に耐えられない	24.1%
高齢で産むのは嫌だから	18.3%

出典：大分県福祉保健部子ども未来課「令和5年度 こども・子育て県民意識調査報告書」

行政サービスの充実により、さらに満足度が向上し、金銭的負担や心理的・肉体的負担が軽減できるのでは...

テーマ2
05

03:テーマ2：子育て支援の充実 大分都市広域圏

第3期未来創造塾

さらなる子育て満足度向上に向けた子育て支援サービスの拡充

*市民が市民の子育てサポート

現状分析

分析1 支援に満足していない
・支援施設やサービスが不足している

分析2 理想の子どもの数より少ない
・金銭、心理、肉体的負担が上位

分析3 出生数が減少している
・子育てに不安を抱えている人が多い

今後検討していきたいこと

子育て満足度をさらに高めるため、「かゆいところに手が届く」きめ細かな子育て支援の充実に向けた検討。

テーマ2
06

「第3期未来創造塾」活動経過

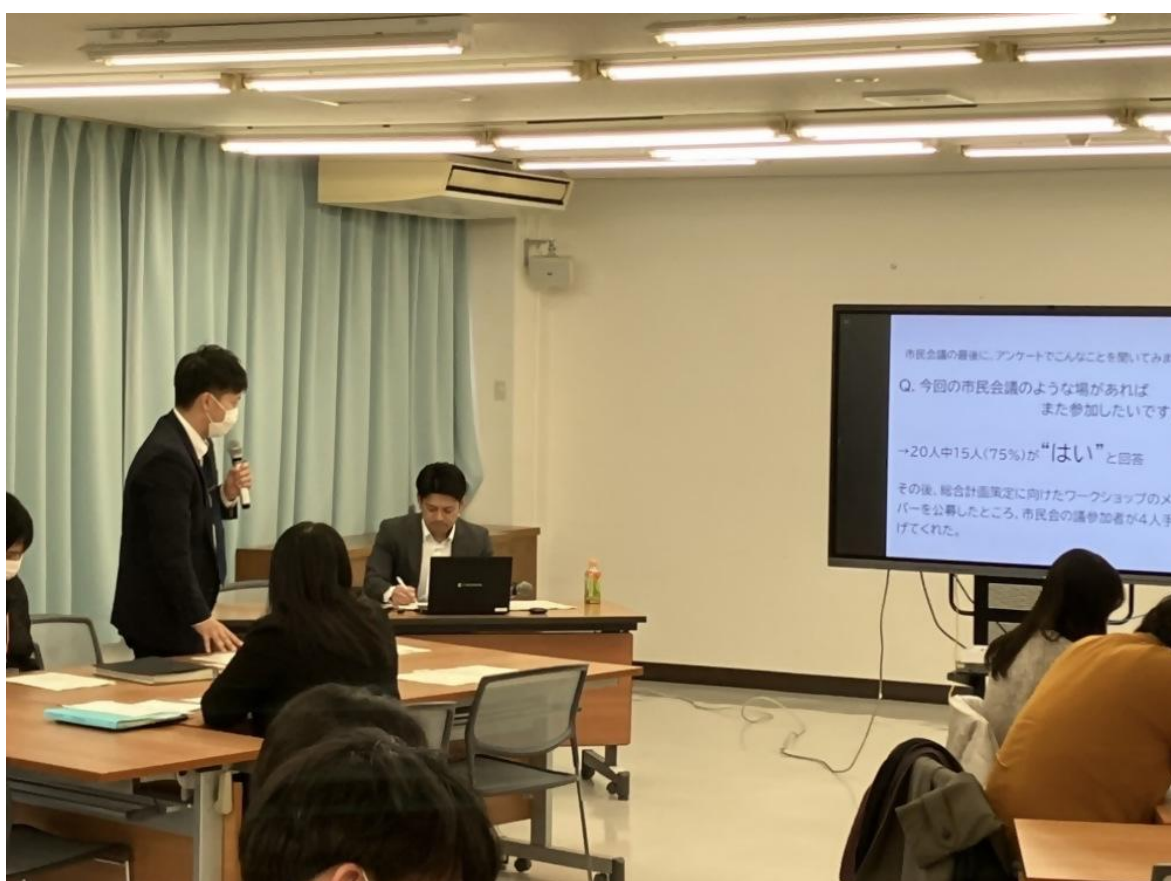
臼杵市 先輩職員による講演（令和7年1月21日）

令和7年1月21日、臼杵市秘書・総合政策課 祖父江 伸矢 様より「市役所と市民の協働について～旧野津高校跡地再活用事業を例に～」と題して講演をいただきました。

講演後には塾生の質問に丁寧に答えていただき、実体験をもとにした住民との協働による政策立案について、貴重なアドバイスをいただくことができました。



講演の様子



塾生（廣瀬さん）から講師へ質問



祖父江さん、ご講演ありがとうございました！！

塾生会議等の開催（令和6年12月～令和7年10月）

● 政策提案へ向けて、各チーム具体化を進める

令和6年度推進会議での首長からの意見や先進地視察、塾長ヒアリングなどを踏まえ、両チームともに政策提案の検討を進めました。

<Aチーム 「Creaita」 (クリエイター)>

テーマ①“雇用・就労”については、大分大学地域連携プラットフォーム推進機構や前橋市未来政策課「めぶく。プラットフォーム前橋」を訪問し、課題や先進的な取組内容を研究しました。また、大分大学と地元就職についての意見交換を行い、現在の学生が何を求めているのか現状把握を行いました。

テーマ②“防災”については、大分大学減災・復興デザイン教育センターや日田市防災危機管理課を訪問。防災・減災について意見交換を行うなかで、『防災×〇〇』という新たなアイデアの具体化について、検討を進めていきました。



<Bチーム 「Team Noctas！」 (チームノクタス)>

テーマ①“地域の魅力発信”については、佐世保市経営政策課を訪問。西九州させぼ広域都市圏が行う「よかワーケーション」事業について、事業実施の際の地域住民との関係構築などについて研究しました。

テーマ②“子育て支援の充実”については、佐世保市子ども政策課や福岡県子育て支援課を訪問。子育てファミリーサポートセンター事業の広域展開やふくおか子育てマイスター制度について意見交換を行い、広域圏での認定講習制度の創設について、検討を進めていきました。



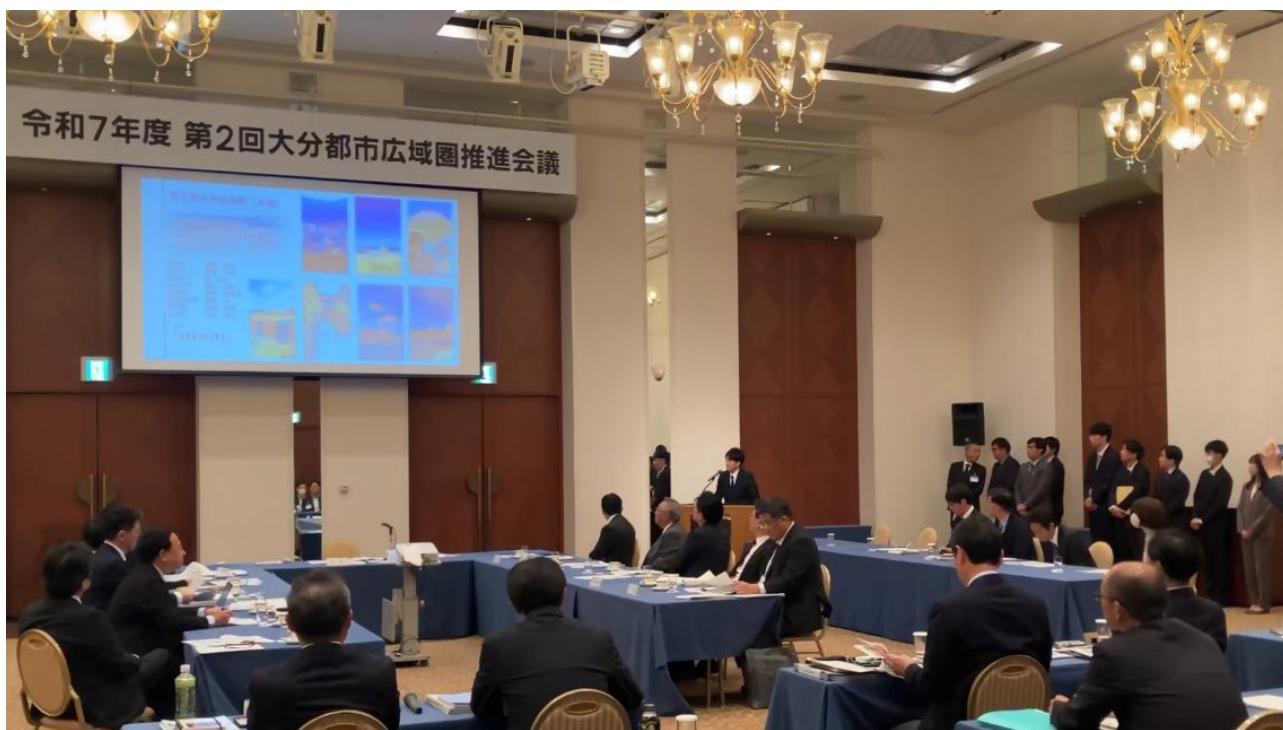
大分都市広域圏推進会議 『政策提案』

令和7年度大分都市広域圏推進会議で政策提案（令和7年11月14日）

令和7年11月14日、各チームともに2つの政策提案を行いました。首長を前に緊張するなか、Aチームリーダーの廣瀬さん、Bチームリーダーの中田さんが堂々と発表されました！

【会議名】 令和7年度 大分都市広域圏推進会議
【開催日】 令和7年11月14日（金）10時～
【開催場所】 ホテル日航大分オアシスタワー 5階 孔雀の間

Aチーム 「Creoita」（クリエイター）



施策提案① : ミライインターン事業

施策提案② : 大分都市広域圏防災アミューズメント化

Bチーム 「Team Noctas!」（チーム ノクタス）



施策提案① : おおいた”どこまでん人がつながる”ツーリズム

施策提案② : おおいた子育てマイスター（ファミサポ認定補助制度）

両チームともに政策提案発表が無事終了し、各首長から今後の事業化に向けた期待の声や未来創造塾の取組に対して、高い評価をいただきました！塾生の皆さん、お疲れ様でした！

政策提案

第 3 期 未来創造塾

Aチーム 「Cre∞ita」 (クリエイター)

第3期未来創造塾 (A班)

令和7年11月14日

大分市 廣瀬 秀志
 別府市 甲斐 大地
 臼杵市 橘 俊吾
 津久見市 梶田 正法
 竹田市 久良 伊武希
 豊後大野市 橋本 卓
 由布市 佐藤 亜美
 日出町 小林 祐介

「Cre∞ita」

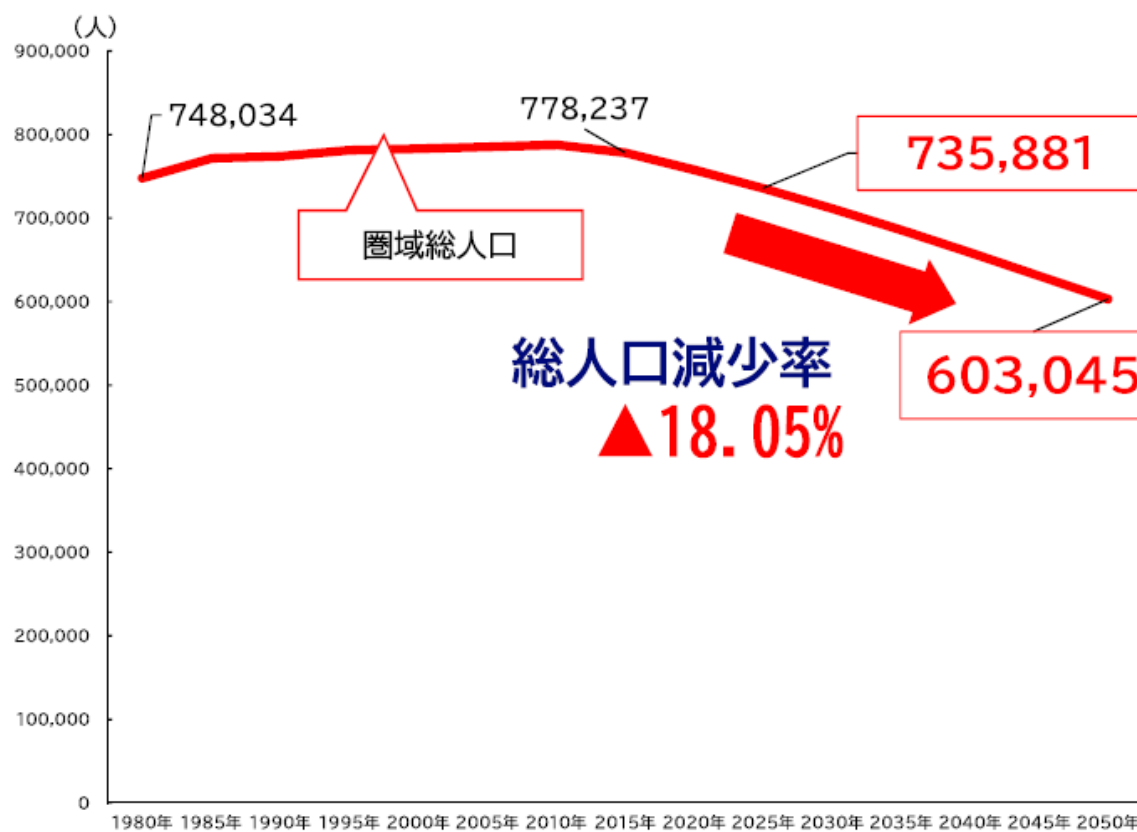


テーマ設定について

大分都市広域圏の現状: 総人口は減少傾向・合計特殊出生率も1.44に

2025年→2050年における総人口推計

大分都市広域圏市町別合計特殊出生率
(令和1~5年の5年平均)



市町村名	合計特殊出生率
大分市	1.48
別府市	1.22
臼杵市	1.32
津久見市	1.24
竹田市	1.33
豊後大野市	1.25
由布市	1.49
日出町	1.51
大分都市広域圏平均	1.44
大分県平均	1.44

1980年 1985年 1990年 1995年 2000年 2005年 2010年 2015年 2020年 2025年 2030年 2035年 2040年 2045年 2050年

出所: RESAS、国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

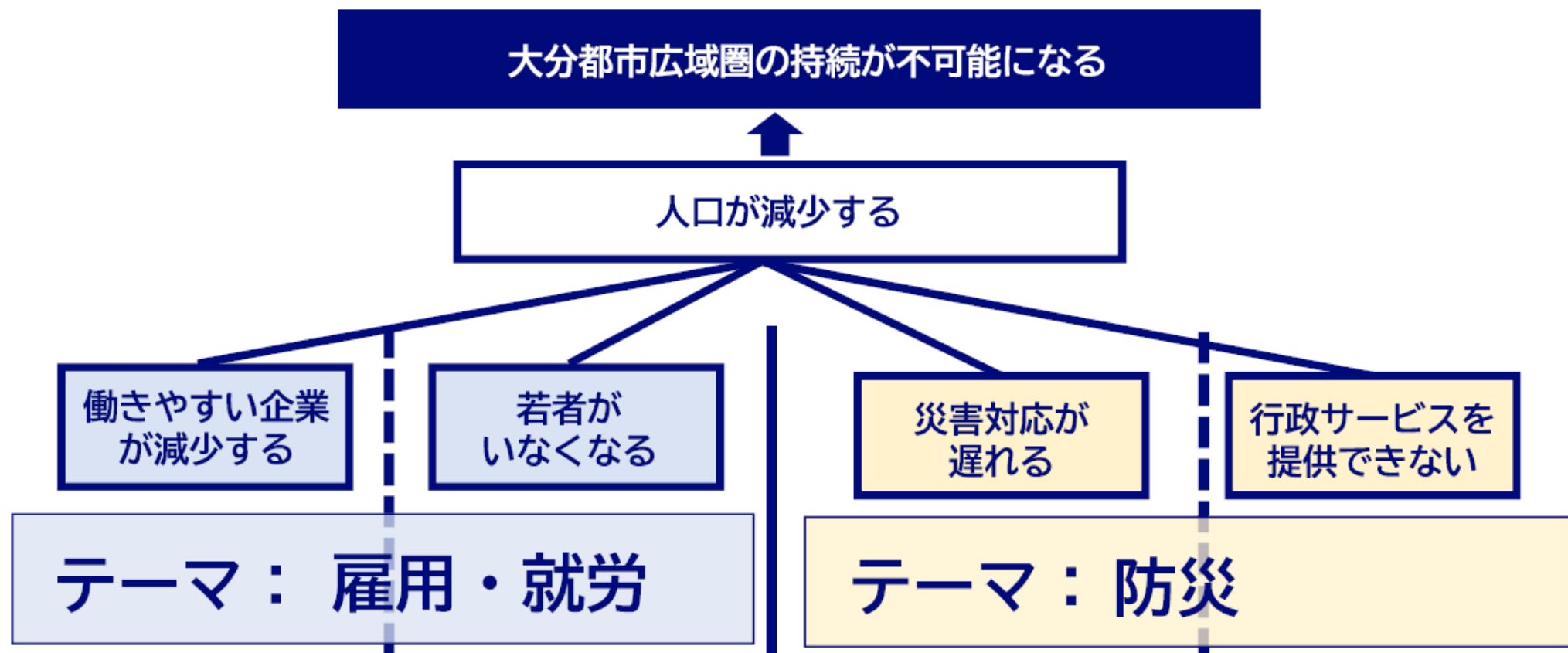
(出所) 人口動態統計より作成

Aチーム 「Cre∞ita」 (クリエイター)

テーマ設定について

「雇用・就労」・「防災」をテーマとして設定

課題ツリー 推測・想定



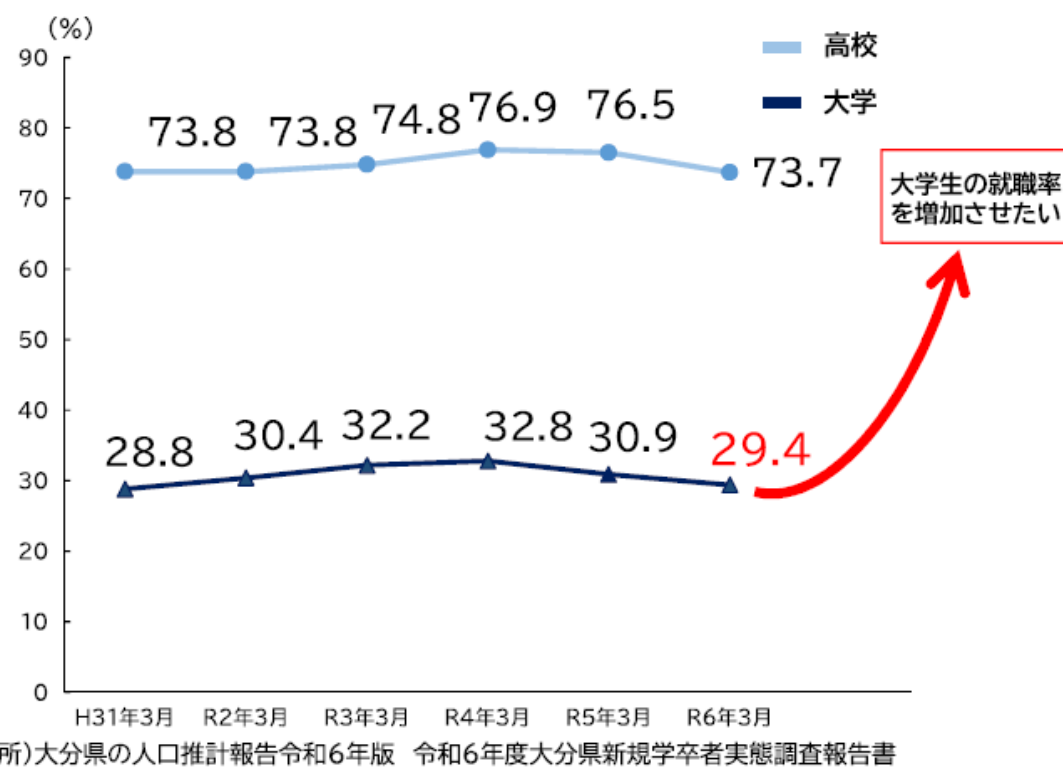
雇用・就労

Aチーム 「Creaita」 (クリエイター)

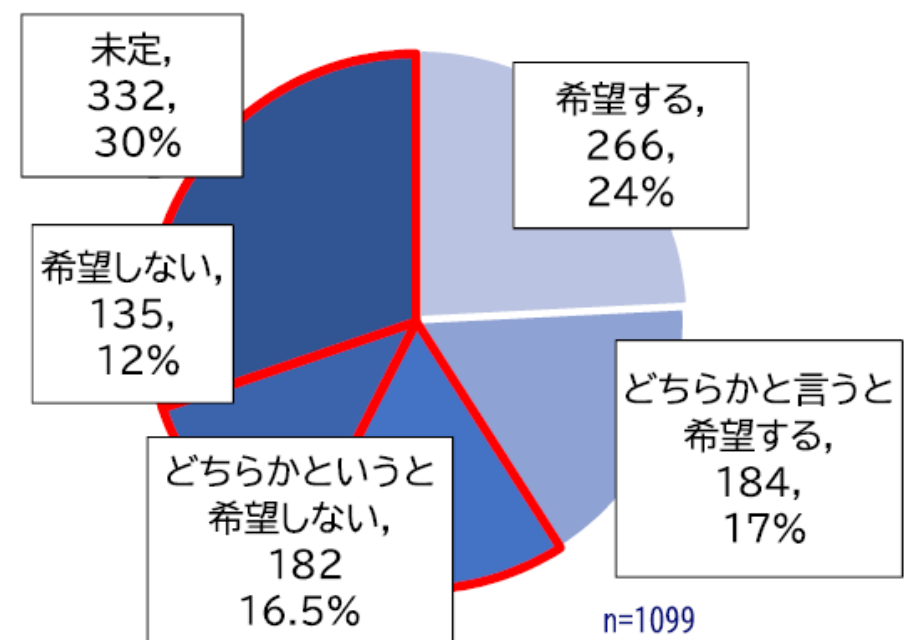
現状：県内大学生が県外へ流出している

- 大学生の大分県内就職率が**29.4%**と低い
- 大学生の県内**希望以外**は**58.5%**⇒圏域内就職率向上の可能性あり

大分県内就職率の推移(高校・大学別)



令和6年度大分大学新入生
県内就職に対するアンケート



ペルソナ設定：ターゲットを選定

名前：佐藤 翔太 (さとう しょうた) 19歳
出身地：大阪府 堺市
居住地：大分大学 理工学部 1年生 (大学近くで一人暮らし)
両親はともに大阪在住 (父は製造業勤務、母は事務パート)
性格・特徴：物静かで慎重、論理的に物事を考えるタイプ。人前で話すのはやや苦手だが、**少人数ならしっかり意見を伝えられる**
趣味・関心：サイクリングや登山 (九重連山など大分の自然を楽しむ)
科学系YouTubeを見るのが好き (実験動画、化学解説など)



就職希望地：**大分県内** (できれば**大分市** or **別府市近郊**)、場合によっては福岡
自然環境や生活コストの面で大分での定住を希望

志望業界：半導体系
志望職種：生産技術、品質管理など技術系職種

就職活動での課題感

- 大分県内企業の詳しい情報収集 (企業研究)
- 技術職のキャリアパスへの理解
- **OB訪問や職場見学を通じたリアルな職場理解**



Aチーム 「Creaita」 (クリエイター)

課題：インターンシップ提案のため先進地視察



群馬県前橋市役所 未来創造部
政策推進課・未来政策課

市内5大学・専門学校と連携し、「めぶく。プラットフォーム前橋」事業を実施
企業と学生をつなぐ役割を担う。

- HPや公式SNSから就職説明会を発信している。SNSは5大学の学生に作成を依頼し、発信することを検討しており、学生自身から広がることをねらっている
- 包括連携協定を締結している前橋市内の大学もあり、前橋市役所が長期インターンシップを受け入れる体制作りをしている。毎年実施をしており、週平均3.5日インターンシップできていただいている



国立大学法人 大分大学
地域連携プラットフォーム推進機構

高度人材育成・地域活性化をオール大分で取り組む「おおいた地域連携プラットフォーム」事業を実施
地域の各種機関と協働し、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、地域が求める人材育成を推進する

- 大分大学の学生もあまり県内の企業に目を向けてないのが実情。特に、経済学部・理工学部の県内就職率はかなり低い
- ほとんどの学生が奨学金をもらい、アルバイトをしている。学業・生活・就活のバランスが重要である
- 県内企業の魅力を伝える取り組みも1・2年生を対象として考えるとよいのではないか

事例比較：広域的な取り組みの比較

就職支援団体の取組事例を比較

	大分都市広域圏	めぶく。	地域連携プラットフォーム
就活PR方法	△ 自治体から情報発信	◎ 市内大学がSNSを活用し発信	○ 校内での発信等
相談窓口	△ ジョブカフェおおいた	○ 市内5大学・専門学校	◎ プラットフォームが就職までを支援
インターンシップ	—	◎ 市内5大学で発信 長期インターンあり	○ プラットフォームで発信
企業説明会	△ 合同企業説明会のお知らせ	○ ミライバシ	○ シゴト発見フェスタ
就職優遇制度	—	—	○ おおいた共創士

Aチーム 「Creaita」 (クリエイター)

課題検討・事業提案：有償によるインターンシップ支援を選定

事例比較から学生と企業の出会いの課題検討し事業を提案

課題：学生

- インターンシップへの支援が少ない
- 圏域内の企業情報を知らない



職場を体験し、就職への参考にしたい！

課題：地元企業

- 合同企業説明会だけでは魅力を伝えきれない
- 新入社員の早期退職が不安



仕事を知ってもらい、入社後のギャップをなくしたい！

事業提案：ミライインターン

若者を地域の社会と産業を担う中核的人材として育て、企業が求める技術者等に必要な知識・技術の習得や卒業時での**県内企業（県内企業の人材確保）**に結びつけることを目的に、大学生等を対象とした県内企業へのインターンシップ事業を実施する

大学生は、**長期休み（春休み・夏休み）**に県内企業に就業体験に行き、参加学生に賃金が支払われる



実務に近い仕事体験が報酬ありで魅力的！



学生と、長期のリレーションが築けるため情報をしっかり伝えれる！

ミライインターン実施に向けた連携

- **【産】【学】【官】が連携**し、大学生が圏域内の地場企業と触れ合える仕組みを構築する



学生

- ・企業研究
- ・知識、スキルの習得
- ・就業観、目的意識の醸成
- ・収入の確保



企業

- ・社員のスキルアップ
- ・自社や業界の認知度向上
- ・就職率向上
- ・離職率低下



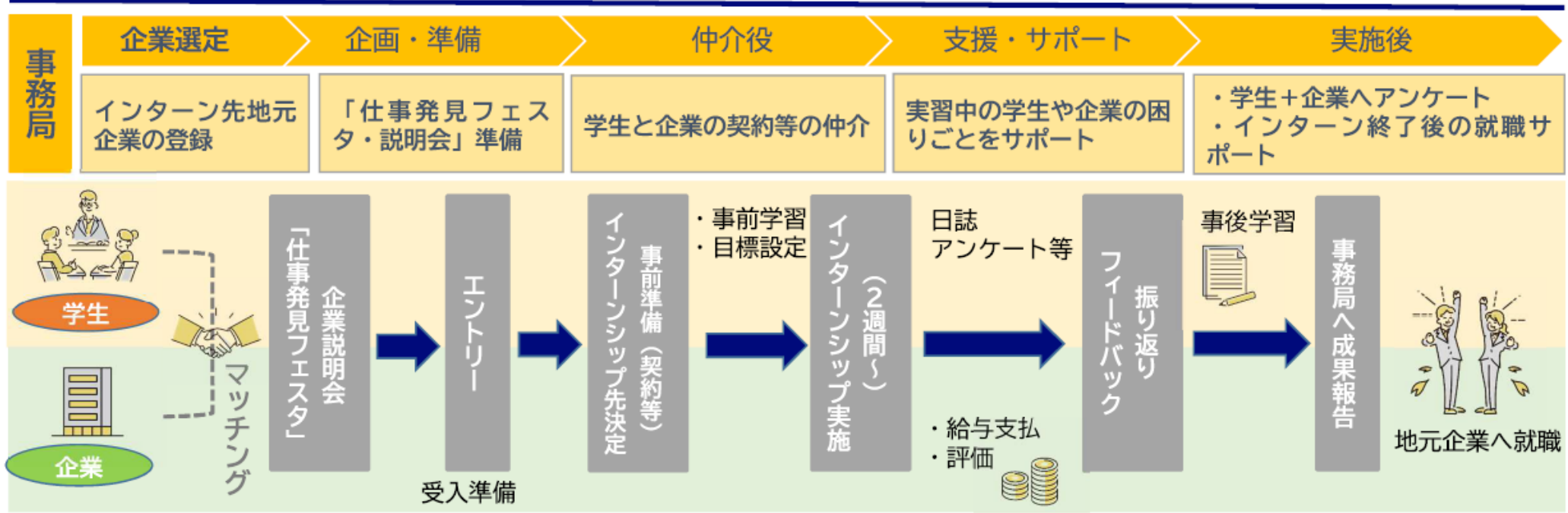
圏域

- ・圏域内企業PR
- ・地元経済の活性化
- ・就職率向上による
- ・圏域人口の確保



Aチーム 「Creaita」 (クリエイター)

施策提案：ミライインターン事業スキーム



参加・成果指標

■ 参加指標

ミライインターン参加者数 100名 | 受入企業数 25社 | 参加率 20%

■ 成果指標

学生満足度 4.2/5 | 企業満足度 4.2/5 | 地元就職率 35%

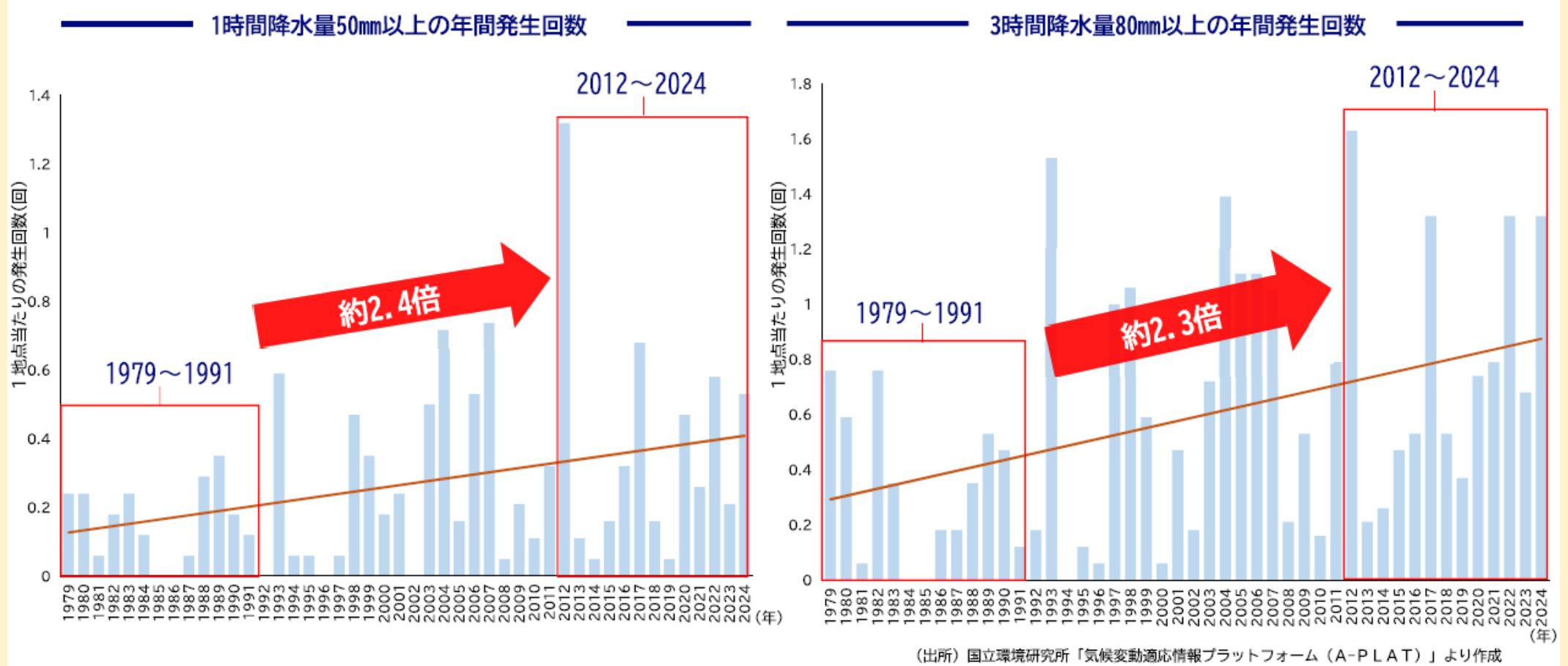
カスタマージャーニー (ハッピーエンド)

	知ること	学んだこと	行動決定
マインド	<ul style="list-style-type: none"> ■ 給料がもらえるインターンシップがあるんだ ■ 実務経験を積みたい ■ 地元企業ってどんな仕事をしているんだろう ■ 県外に出なくても成長できるかも 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域に貢献できる実感がある ■ インターンシップを通して 県内企業に魅力を感じる ■ 県内での就職を意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元で長く働きたい ■ 地域の発展に関わりたい ■ 後輩にも勧めよう
行動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大学・自治体・地域企業のサイトやSNSで情報を知る ■ 県内で働く体験のためミライインターンシップに登録 ■ 県内企業とマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学業と両立しながら地域企業でスキルアップ ■ 実際に地元企業で働く社員や経営者と交流 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 就職活動の中心を県内で実施 ■ 県内企業で就職

防災事業策定

現状：人口減少が進むなか大分県の局地的大雨の年間発生回数は増加傾向にある

- 非常に激しい雨、猛烈な雨の年間発生回数は増加しており、災害発生危険度は増加している
- 避難指示の発令が増える可能性もあり、適切な避難行動ができるように準備する必要がある

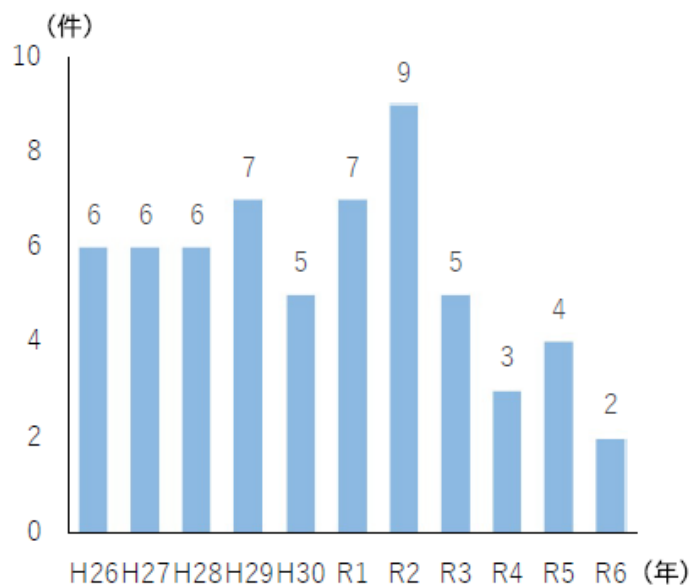


Aチーム 「Creaita」 (クリエイター)

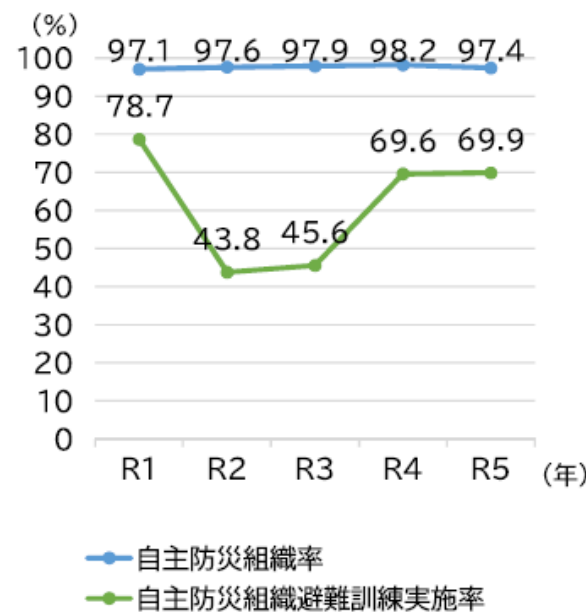
現状：風水害が多く発生・発災前の備えが重要に

- 風水害は平成26年度から令和6年度まで延べ60件発生している
- 自主防災組織の組織率に対し、避難訓練等実施率(69.9%)となっている
- 県民意識調査によると、「災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備」や「災害に関する情報の迅速で確実な伝達」を求める住民が多い

—— 県内の風水害発生件数 —— 圏内自主防災組織に関するデータ(R5) —— 各分野で力を入れてほしいこと(R5) ——



(出所) 大分県 過去の災害による被害状況を加工
<https://www.pref.oita.jp/soshiki/13550/oita-kakosaigai.html>



(出所) 大分県地震・津波防災アクションプラン目標指数一覧表より作成
<https://www.pref.oita.jp/site/bosaitaisaku/actionplan-bousai.html>

⑤防災・減災対策

- 1位外：災害時の物資備蓄や避難所などの防災拠点の環境整備
- 1位外：災害に関する情報の迅速で確実な伝達 (54.5%)
- 3位：自力での避難が困難な方の支援体制づくり (38.7%)

(出所) 大分県の政策に関するアンケート調査結果を加工
<https://www.pref.oita.jp/soshiki/10111/survey.html>

テーマ選定：広域的な防災事業を選定

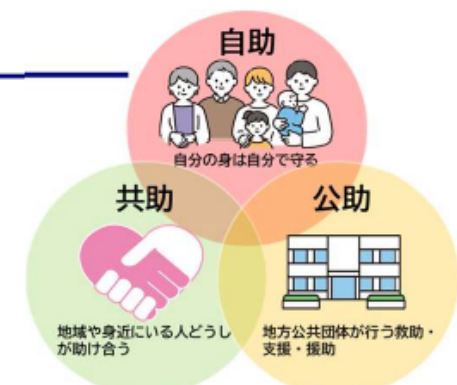
▶ 現状

人口減少、少子高齢化社会
地域における防災力の脆弱化

局地的大雨、風水害の増加
自然災害の頻発・激甚化

▶ 課題

- 人口減少社会での災害対応は地域での助け合いが必要不可欠
- 防災対策は自助・共助・公助の三助での取組が必要
- 防災についての情報に関心が薄く、防災意識が浸透しにくい
- 地域防災組織等の活動が見えにくく、多世代で参加するきっかけがない



◎興味関心を高めつつ、防災情報の提供機会の向上に直結する体系づくりを目指すために…
 広域的な防災について、誰でも『参加できる』『楽しめる』『記憶に残る』事業を検討

安心な大分都市広域圏で人口流出を抑制し、『住みたい』『住み続けられる』圏域へ

課題：大分都市広域圏等の既存施策

01

防災教育（豊後大野市）

防災の日に豊後大野市一斉全校防災教育・訓練

目的

災害への備えの大切さの理解
家族友人地域と連携し対外に助け合う知識・技能を身につける

規模

豊後大野市内の全ての小中学校

02

避難訓練コンサート
（大分市）

コンサート会場での災害等を想定した集団避難訓練

目的

発災時の会場からの安全な避難誘導の手順の確認

規模

コンサート参加者約400名

03

合同防災訓練（日田市）

集中豪雨等による大規模災害に備え、小学校校区単位で合同防災訓練を実施

目的

地域順民の防災意識の向上、行政・防災関係機関等の災害対応能力向上、相互の連携強化

規模

国土交通省、大分県、地元自治会等を含め25団体が参加



防災レベルの行政間での差あり



学校での防災教育は進んでいる。働き世代へ浸透させることがマスト



大分都市広域圏内では、災害対応についての広く浸透させる場が必要

課題：防災施策提案のためヒアリング

- 防災行政は、地域住民の生命・財産を守るためのものである
地域のことを理解し、そして臨機応変に対応することが自治体にとって重要である
- 発災時の行政の発令後のアフターフォローが重要である。きちんと検証を行い、地域住民に対しリスクコミュニケーションを図るべき。どの自治体も振り返りは、ほぼ実施できていない
- 大分都市広域圏内の市町で災害時の対応についてきちんと理解をするための場を設けることが重要である
- 教育課程において「生きる力」が明記される等、防災教育の推進は進んでいる。行政として、学びのきっかけをつくってほしい。子どもから家庭につなぐ防災への取組を念頭に、働き世代や高齢者に対する防災意識を広く浸透させる実践が大切である

大分大学

減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）



- 災害情報活用プラットフォーム（EDISON）を用いた地方公共団体への災害対応
- 防災・減災DXを実現するためのリスクマネジメントの構築
- 地方公共団体へのアドバイス等を実施

施策提案：ターゲットを設定

名前：田中 明美 (たなか あけみ)
 年齢：32歳
 性別：女性
 家族：夫 (大分市の工場で交代勤務) ・ 子ども2人 (こども園年長、小学2年生)
 祖父母は大分市内から車で1時間程度に住んでいる
安否確認や連絡手段についても少し気になるが、普段は特に対策はしていない
 職業：地元の中規模企業で事務職 (女性が多い職場)
 働きやすいが、**防災訓練は年1回程度**で、災害時の対応マニュアルも整備されていない
 住まい：現在は別府市の賃貸マンション、マイホーム購入を検討中 (日出町に新築戸建て希望)



趣味・関心：週末は家族でグルメフェス、フリマ、自然体験などのイベントに出かける
 情報収集：SNS (Instagram、Facebook)、市の広報誌、ママ友の口コミを主に利用
 ライフスタイル：平日は仕事と家事育児で忙しい
 防災に対するマインド
 ■ 家計を意識しつつ、家族の安心・安全のための備えは「できる範囲で」と考えている
 ■ 防災情報は「目に入ったら見るけど、自分からはあまり積極的に探さない」

施策提案：大分都市広域圏防災アミューズメント化

大人世代への波及

⇒大分都市広域圏防災アミューズメント化

大分都市広域圏内で家族・親・友達・祖父母とあらゆる世代で参加できる地域の学習・観光コンテンツをパッケージ化して再現性を高める

Step 1 「防災バッグづくり」体験

ポイント
 既存事業の歩行者天国事業
 で実施
 楽しく家庭内へつなぐ



Step 2 非日常体験 防災キャンプ事業

ポイント
 道の駅事業と連携
 非日常の不便さの学び



Step 3 防災脱出ゲーム

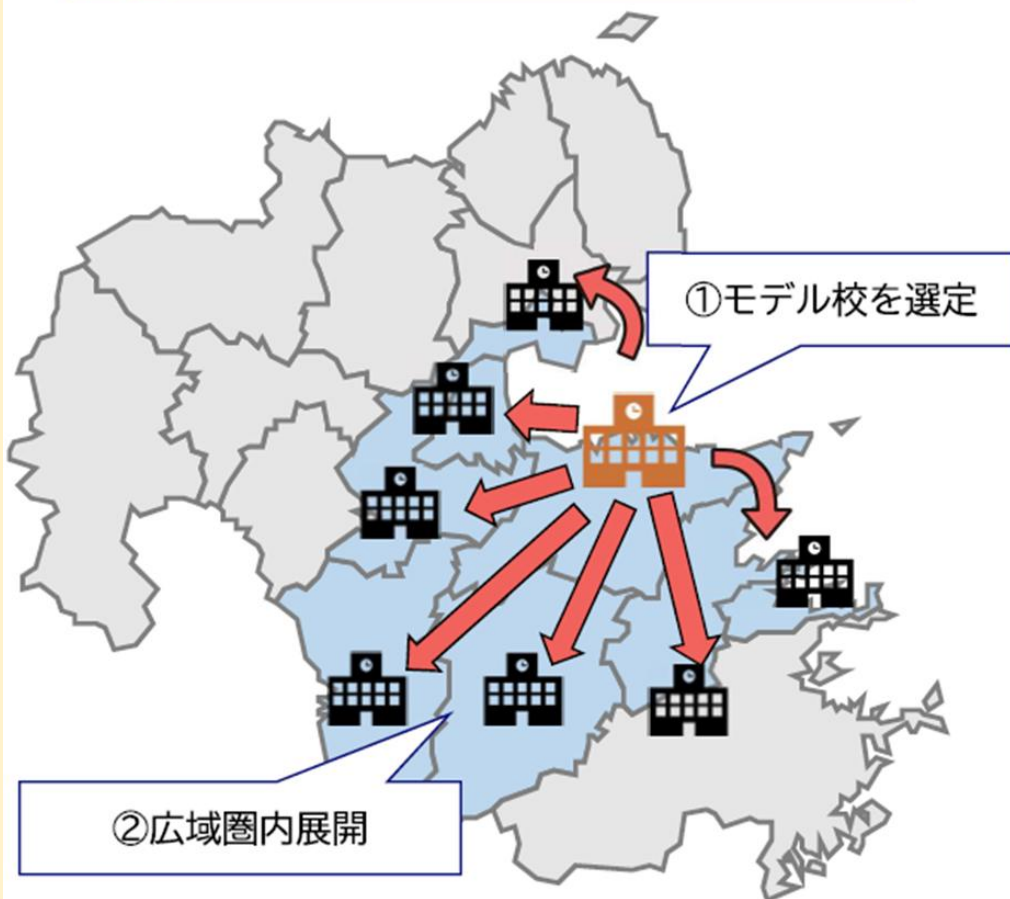
ポイント
 エンタメと防災のリンク



施策提案：Step3 (防災脱出ゲーム)



圏内の多世代に防災意識向上と地域のつながりを築く



Step3

ゲーム感覚で体験による防災力の向上
「しんけんぼうさい脱出ゲーム」

- ①モデル校による実証実験
- ②広域圏内の小中学校へ展開



しんけんぼうさい脱出ゲーム

概要

- 小中学校が会場
- 1チーム5～10人編成
- 制限時間は60分

事業内容

- 風水害想定、事前準備と避難時の持ち物をグループで検討（リスクコミュニケーション）
- 会場に持ち込むことができるのは防災バッグ（Step 1・2からの資料は閲覧可）と事前検討した準備物のみ
- 会場内各場所の謎解きに挑戦し、避難することができればゴール。謎解きは点数制で最終的にグループにフィードバック

目標と予算：脱出ゲーム実証実験までを検討

展開する施策の情報更新を行いつつ、フォーカスト管理による発展を目指す

Step 1：防災バッグづくり事業		Step 2：防災キャンプ事業		Step 3 しんけんぼうさい脱出ゲーム (モデル校実証実験)	
	金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)
総費用	450	総費用	2,800	総費用	5,500
企画費	100	企画費	500	企画費	1,000
デザイン制作費	50	デザイン制作費	500	デザイン制作費	500
防災バッグ費	100	防災キャンプ費	1,000	運営費	2,000
印刷製本費	200	人件費	100	スタッフ費	500
		WEBアンケート等管理費	500	WEBアンケート等管理費	500
		印刷製本費	200	印刷製本費	200
				設備費	800

参加・成果指標

歩行者天国事業の全体参加者のうち
防災ブースへの来訪者10%を目指す
R6年度：全体参加者平均約23,000名

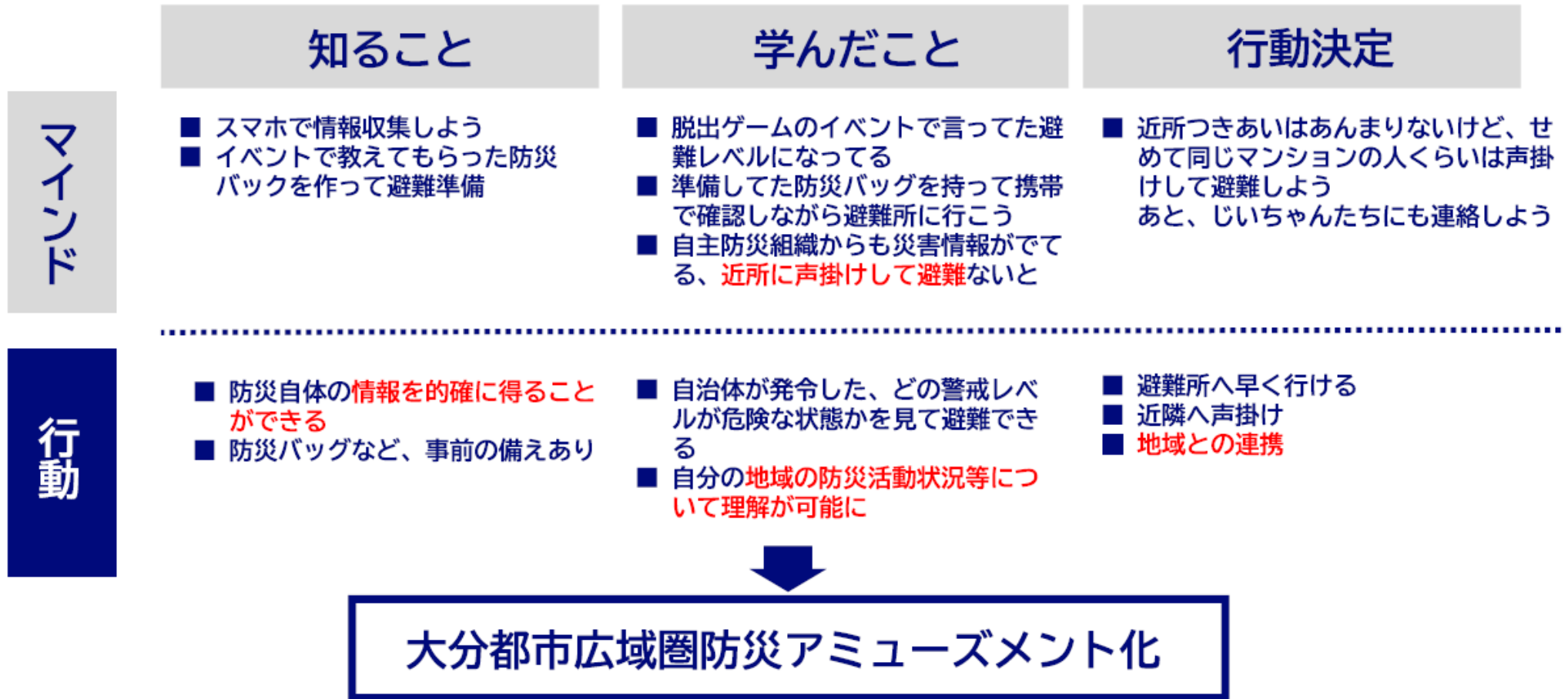
全体参加者のうち**働き世代の参加率50%以上**を目指す
事業終了後のアンケート分析による
住民防災意識向上率**30%**を目指す

イベント参加者の**防災意識の認知度60%以上**を目指す（アンケート分析等により把握）

Aチーム 「Creoita」 (クリエイター)

■ カスタマージャーニー (発災前後の意思決定)

- 大分都市広域圏内の多世代住民が発災前から防災意識を持つことができるようになる
- 避難行動を的確に行うことができるようになり、三助の連携のもと周りを巻き込んで行動が可能に



ご清聴ありがとうございました

Special Thanks

群馬県前橋市役所 未来創造部
政策推進課・未来政策課の皆さま

おおいた地域連携プラットフォーム
大分大学 学生支援部の皆さま

大分大学
減災・復興デザイン教育研究センター(CERD)の皆さま

日田市役所
防災・危機管理課の皆さま

大分都市広域圏

令和7年11月14日

第3期未来創造塾

TEAM NOCTAS!

New Creative Solution 新しい創造的な政策提案を!

Oita

政策立案 発表資料

01

ロジックツリー (中心課題とテーマの設定)

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

ロジックツリー

02

現状分析 【困難に直面している人】に向けた政策立案を

バッドエンド

中心課題

地域が消滅する

地域が衰退する

テーマ 1: 地域の魅力発信

定住・関係人口が減少

愛着・関心がない

地域の魅力が知られていない

テーマ 2: 子育て支援の充実

出生数の減少

子育てが不安

支援が不十分

Bチーム 「Team Noctas！」 (チーム ノクタス)

テーマ1：地域の魅力発信（分析）

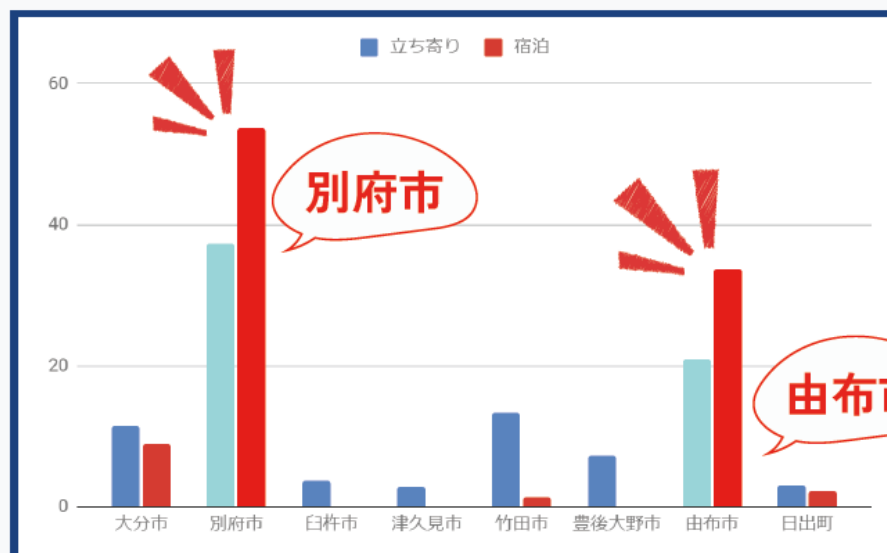
大分都市広域圏

第3期未来創造塾

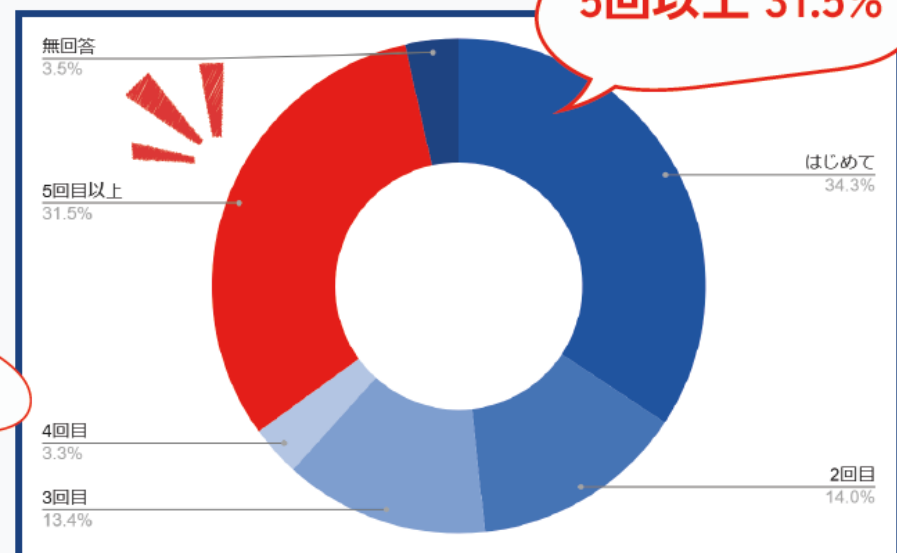
テーマ1：分析（現状）

▶ 来訪者の一極集中が目立ち、リピーターは非常に多い。

都市広域圏における来訪者の立ち寄り／宿泊者の状況



来訪回数の分析



出典：RESAS地域経済分析システム、大分県「大分県観光実態調査」

テーマ1：地域の魅力発信

03

テーマ1：地域の魅力発信（分析）

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

テーマ1：分析（仮説）

検討していききたいこと

分析1

行ってみたい都道府県：36位
行って良かった都道府県：1位
一度来てもらえたら、継続的に来てもらえるポテンシャルを秘めているのでは...

出典：地域ブランド調査2022調査概要

+ 加えて

分析2

イベントや体験への興味：圏外
食や特産品への興味：圏外
来県者へのアプローチが弱いのではないかと
まだ見ぬ地域資源が眠っているのではないかと...

出典：じゃらん宿泊旅行調査2023

圏域外の住民と地域住民との持続的な関係性を構築するため、

- ・圏域の地域資源（伝統・食文化など）を伝える体験プランを策定し、新たな人の流れをつくる。
- ・地域住民による継続的に訪れてもらうための受入体制を整備。

* 地域住民が圏域の魅力を伝える

▶ 関係人口と地域住民の協働による地域の活性化

テーマ1：地域の魅力発信

04

テーマ1：地域の魅力発信（先進地ヒアリング）

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

先進事例：西九州させば広域都市圏 広域圏サポーター創出事業

佐世保市役所 若者活躍・未来づくり課

▶ キーマン(地元住民)を中心にプランを構築

■ 概要

- ・ コロナ禍で増加したテレワーカーをターゲットにワーケーションプランを実施。
- ・ 観光コンベンション協会に委託し、**キーマンとなる地元住民を中心にプランを構築。**
- ・ 参加者の将来的な移住・定住に繋がる関係人口の創出を目的としている。

■ 成果

- ・ 集客は芳しくなかったが、“ヒト”との交流については参加者の満足度が高かった。
- ・ 市外参加者との関係構築はできておらず移住に繋げることができなかったが、市内参加者については**他イベントへの関係継続あり。**

■ 課題

- ・ スケジュールが固定されていたことや、参加費用が高額だったことで、テレワーカーの需要にマッチしていなかったため、**ニーズに沿ったプラン構築ができなかった。**
- ・ **商品化に繋がらず単発での販売となってしまった。**



テーマ1：地域の魅力発信

05

テーマ1：地域の魅力発信（ターゲットの想定）

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

ペルソナ：昔と比べて地元の活気がないのでなんとかしたい。

属性情報



名前：安東 誠司
年齢：67歳
出身：大分県竹田市

家族構成：妻(大分市在住)
子3人／犬(モカ♀3歳)

性格：社交的／温和／実直
地元愛が強い／お節介

趣味：散歩／ゴルフ／神楽
(やりがいのある趣味を模索中)

経歴

竹田中学校 → 竹田高校(普通科) → 福岡大学(商学部商学科)
→ 株式会社九電工(大分に配属、営業職45年勤務)
→ **退職を機に竹田市の実家に引越** → 大分市との二拠点生活をしながら年金生活

現在の悩み／想定されるバッドエンド

伝統文化が好きで、幼少から地元で神楽を習っていた経験がある。
退職後は地元で貢献したいと考え、社会活動への参画に意欲があったものの、
昔と比べて地元の活気がないのでなんとかしたいが、どうすべきかわからない。
現在は竹田市の神楽会にも顔を出しているが、
神楽の担い手が高齢化しており、竹田神楽が衰退してしまうことに悩んでいる。

行政への相談／満足度

市役所に上記のことを相談したが、**イベントを紹介されるのみだった。**
地域のつながりを生むための糸口は見つけられなかった。

テーマ1：地域の魅力発信

06

Bチーム 「Team Noctas！」 (チーム ノクタス)

テーマ1：地域の魅力発信（施策提案その1）

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

提案施策名：おおいた"どこまでん人がつながる"ツーリズム

年間スケジュール **食** **自然** **文化**：体験を発掘して独自に集約し、受入体制を整備。



▶ 体験／キーマンを発掘し、独自集約した情報をデータベース化する

テーマ1：地域の魅力発信 07

テーマ1：地域の魅力発信（施策提案その2）

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

提案施策名：おおいた"どこまでん人がつながる"ツーリズム

- 食** 食の体験（地元婦人会など）
 - ・大分ならではの食に触れる機会を食体験や果物狩り等
 - 自然** 自然の体験（里山ガイドなど）
 - ・自然豊かな大分を堪能できるプラン
山岳トレッキングや里山フットパス等
 - 文化** 伝統文化の体験（地元の団体など）
 - ・伝統芸能や工芸品などの古くから伝わる地域文化の伝統体験ができるプラン
- * 地域住民が圏域の魅力を伝える

エリアから探す ジャンルで探す
 バリアフリーで探すetc... ニーズ別検索機能

出典：南予いやし体験プログラムPRパンフレット

想定するプランをHPやパンフレットで紹介
 別府や湯布院といった主要な観光地を訪れる旅行者のスキマ時間に寄り道できる短時間のプランなど...

▶ "地元の魅力を発信したいキーマン"と"まだ見ぬ魅力を発見したい観光客"を結ぶ

テーマ1：地域の魅力発信 08

Bチーム 「Team Noctas！」 (チーム ノクタス)

テーマ1：地域の魅力発信（施策提案その3）

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

提案施策名：おおいた"どこまでん人がつながる"ツーリズム

キーマンの募集

・地域のコネクションや市民向け広報誌等で募集

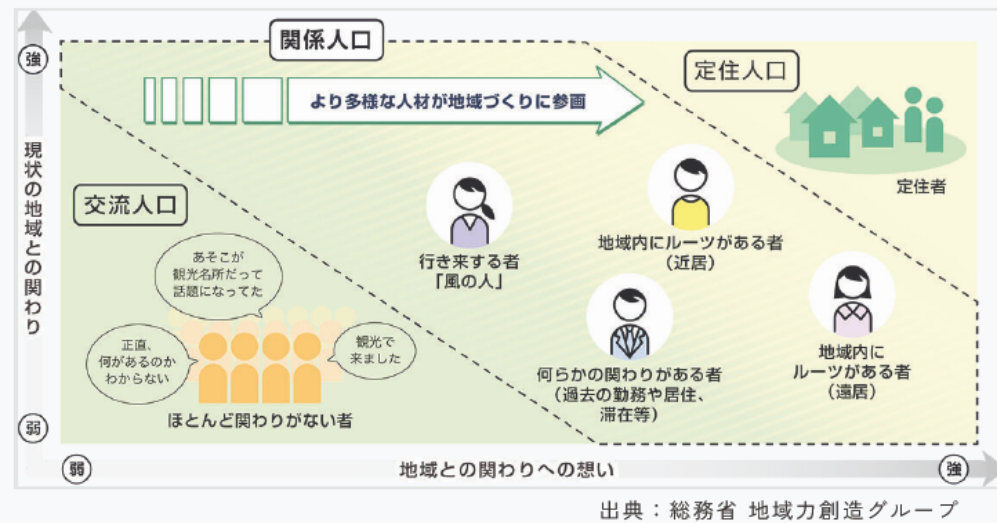
キーマンと打ち合わせ・プラン設定

・期間の確認・料金設定・催行人数などの情報の集約

チラシ・ポスター・HPなどで告知開始

・全国各地の交通機関や観光協会などで告知

* 地域住民が圏域の魅力を伝える



地域の魅力を発掘×集約×発信！交流人口／関係人口／定住人口へ

重要業績評価指標 KPI

5か年で交流人口比関係人口率35%以上を目指し(R4：29.6%)、地域活性化に寄与する。

※大分県「大分県観光実態調査」及び「関係人口の意識調査」で確認

目標達成指標 KGI

プラン満足度80%(アンケート調査)、専用サイト閲覧数40万PVを目標とする。

※プラン利用者に対しアンケートを実施

※県外向け情報発信ウェブサイトは60万PV(県地域再生計画より)

09

テーマ1：地域の魅力発信

テーマ2：子育て支援の充実（分析）

大分都市広域圏

第3期未来創造塾

テーマ2：分析（現状）

支援を求める声が多く、サービスの認知度は低い。

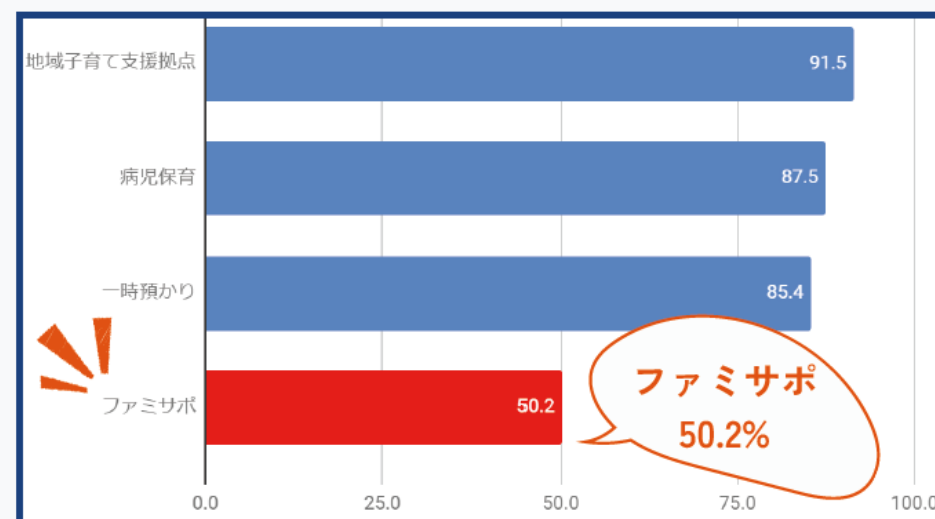


理想とする子どもの数を実現するために必要なこと

経済的な支援	79.7%
配偶者との役割分担	41.0%
子どもを預かる事業の拡充	31.4%



子育て支援サービスの認知度



出典：大分県福祉保健部こども未来課「令和6年度 こども・子育て県民意識調査報告書」

10

テーマ2：子育て支援の充実

テーマ2：子育て支援の充実 (分析)



第3期未来創造塾

テーマ2：分析 (仮説)

分析
1

理想の子どもの数が実現できない
 ・経済支援／役割分担／事業の拡充を求める声
各子育て支援サービスの認知度
 ・ファミサポの認知度が低く、伸びしろがある？

出典：大分県福祉保健部こども未来課
 「令和6年度 こども・子育て県民意識調査報告書」

+ 加えて

分析
2

**ファミリーサポートセンターの運用
自治体によってばらばら？**
 ・講習は座学で、実技が不足？
 ・預かり者の人柄や資質がわからず、不安...

検討していきたいこと

**配偶者や第三者の
助けが求められている。**

- ・子育て満足度をさらに高めるため、「かゆいところに手が届く」きめ細かな子育て支援の充実が必要。
- ・各自治体間でのファミサポ(援助会員)の認定講習の標準化を進める。

* 市民が市民の子育てサポート

テーマ2：子育て支援の充実

11



都市広域圏における包括的な子育て支援者認定制度

テーマ2：子育て支援の充実 (先進地ヒアリング)



第3期未来創造塾

先進事例：ふくおか子育てマイスター制度

福岡県 福祉労働部 子育て支援課

▶ 地域が子育てを応援、保育ニーズに応える

■ 概要

- ・高齢者による子育て支援での活躍の場を与え、共働き世代の保育ニーズに応える県独自の制度。
- ・**全7日間・30時間のカリキュラムを修了することで認定される。**
- ・イベントでの託児や子ども食堂の見守りなど依頼件数は年間100件を超える。

■ 現状と課題

- ・認定している会員の中で実際に活動している方は半数程度。
認定後の更新制度はなく会員の資質等に課題がある。
- ・研修内容は充実しているが、活動の場の開拓が弱い。

■ 効果と今後

- ・**地域が子育てを応援する状況を活動を通して創出していく。**
- ・子どもの居場所づくりという観点から児童館や子育て支援拠点等での活躍を増やしたい。



テーマ2：子育て支援の充実

12

Bチーム 「Team Noctas！」 (チーム ノクタス)

テーマ2：子育て支援の充実 (ターゲットの想定)



第3期未来創造塾

ペルソナ：社会と分断されたようで、子育てに後ろ向きな気持ちになる。

属性情報



名前：新井 真由美
年齢：28歳
出身：福岡県糸島市

家族構成：夫/子2人
(4歳長女、2歳二女)

性格：子ども好き/責任感が強い
流行に敏感/温厚

趣味：カフェめぐり/温泉/SNS
お菓子作り/ショッピング

経歴

前原中学校 → 糸島高校 (普通科) → 福岡調理師専門学校 (本科1年コース)
→ 株式会社ホテルオークラ福岡 (パティシエとして3年勤務)
→ 交際していた夫の就職を機に大分へ移住し、結婚を経て24歳で長女を出産

現在の悩み/想定されるバッドエンド

夫が銀行に勤めており四国へ単身赴任中。
たまの土日に帰ってくるが基本はワンオペ育児状態。
自分の両親は福岡在住で、現在も仕事をしており、すぐには頼ることができない。
趣味のカフェめぐりをしたいが、その気持ちをSNSで紛らわしている。
ずっと家にいることで社会と分断されたようで、子育てに後ろ向きな気持ちに。

行政への相談/満足度

市役所に上記のことを相談したが、
自分の子どもを預ける不安もあり、解決の糸口は見つけれなかった。

テーマ2：子育て支援の充実

13

テーマ2：子育て支援の充実 (施策提案その1)



第3期未来創造塾

提案施策名：おおいた子育てマイスター(ファミサポ認定補助制度)

ファミサポ事業の広域圏でのブラッシュアップ

- ・講習のマニュアル化
- ・国のファミサポ方針をベースに基準の内容を策定

+α講習(実技)を任意で受講可能

- ・調理講習：現行の離乳食教室を活用
- ・保育講習：現行の子育て体験会を活用

交流イベントの開催

- ・会員間での交流機会の創出

* 市民が市民の子育てサポート

講習スケジュール

スキルアップし、より安心感を得ることができるよう。



おおいた子育てマイスター 認定講習

▶ "講習のマニュアル化"と"認定資格"による安心して預けられる新たな環境づくり

テーマ2：子育て支援の充実

14

テーマ2：子育て支援の充実 (施策提案その2)



第3期未来創造塾

提案施策名：おおいた子育てマイスター(ファミサポ認定補助制度)

調理講習 現行の離乳食教室を活用

保育講習 現行の子育て体験会を活用



市民の声

「預けるのには信頼性がないと心配」
「座学だけでは預けられるか不安」

市民の声

「素性のわからない人だと不安」
「事前に人となりを知りたい」



テーマ2：子育て支援の充実

15

出典：厚生労働省「子ども・子育て支援推進調査研究事業報告書」



スキルアップによる安心感・参加者への制度理解が進む良い機会にも！
スタッフ同席の安心感+預かる様子や関わり方を学ぶ事ができる。

テーマ2：子育て支援の充実 (施策提案その3)



第3期未来創造塾

提案施策名：おおいた子育てマイスター(ファミサポ認定補助制度)

認定マークの募集

・子どもがいる家庭にデザイン公募

マーク採用者授賞式・認定マーク交付式

・制度の認知度向上だけでなく
「子育てに積極的な大分都市広域圏」とPRに

受講認定 (+α講習までの受講者)

* 市民が市民の子育てサポート



“おおいた子育てマイスター”
認定証

- ・「自治体間格差の是正」、
「家庭に寄り添ったサービスの拡充」を
課題としたより包括的な認定制度の実施。
- ・子どもまんなか社会実現のきっかけ作り
制度が手厚くなっていくことにより、子
を持ちたいという気持ちの醸成につなげる。



新たなガイドライン、認定基準を満たす安心・安全を会員にブランディングする。

重要業績評価指標 KPI

5か年で理想と実際の子どもの人数の乖離値 1.0%未満を目指す。(現状4.6%)
※大分県「こどもの生活実態調査 報告書」で確認

目標達成指標 KGI

利用者側：認知度80%、利用件数100件 サポート側：新規会員受講率80%、既存会員受講率70%
※他預かり事業が85%以上に対しファミサポは約50%

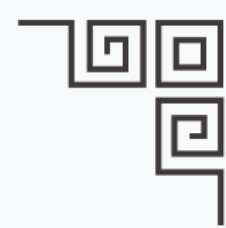
テーマ2：子育て支援の充実

16

Bチーム 「Team Noctas！」 (チーム ノクタス)

大分都市広域圏

THANK YOU SO MUCH FOR YOUR ATTENTION!



第3期未来創造塾



第3期 未来創造塾 (B班) TEAM NOCTAS!

大分市生活福祉課
別府市教育委員会学校教育課
臼杵市農林振興課
津久見市教育委員会生涯学習課
竹田市総務課
豊後大野市商工観光課
由布市湯布院振興局地域振興課
日出町教育委員会社会教育課

中野 亜紀
中田 和哉
大井 智香子
高木 翔大
田北 裕哉
柴谷 孝俊
利光 一樹
鳥井田 侑真



SPECIAL THANKS!

長崎県佐世保市
佐世保市役所
地域未来共創部 若者活躍・未来づくり課のみなさま
子ども未来部 子ども政策課のみなさま
福岡県福岡市
福岡県 福祉労働部 子育て支援課のみなさま
群馬県高崎市
高崎市役所 福祉部 保育課のみなさま
大分県竹田市
扇森稻荷神社さま

ご清聴いただきありがとうございました。



大分都市広域圏推進会議
事務局のみなさま

17

Copyright © 大分都市広域圏推進会議 All Rights Reserved.

各市町の首長によるコメント

A班の防災の提案では、楽しく防災をしようという視点がとても大事だと感じました。佐伯市は南海トラフ地震という大きな課題を抱えていますが、なかなか実効性のある訓練に結びつかず、真剣に取り組まないといけないけど、訓練が楽しかったとか、活動が面白かったとか、そういうところが子供にも大人にも必要だと思いますので、とても良いご指摘をいただいたと思っています。現在、佐伯市では子ども防災士、親子防災士といった取組を考えているので参考になりました。

A班のミライインターンについて、縁があって大分の大学に来た学生が、大分のことを好きになる、定着するという事は非常に大事なことです。地元の企業からも、どこに行っても人手不足で、人が欲しいけど募集をしても人が来てくれないといった声を聞きます。そういう意味でも、ミライインターンで、企業と学生を繋ぐことができれば良いなと思いました。その際には、その仕事をするということに加え、大分に住むということもイメージできたら良いと思うので、行政も関わりながら職業体験以上のものができたら良いと思います。また、プラットフォームとしては、学生を企業に渡して終わりではなく、衣食住など含めて行政が関わりながらコーディネートしていくと良いと思います。そういったイメージを持ちながら早く実施してくれたらと思います。

B班のファミリーサポートセンター(以下、ファミサポ)の提案では、私はファミサポにずっと携わっていましたが、使っている方の意見で一番多かったのは、ファミサポが1時間で幾らという金額の設定があり、それに対して一時預かりは、半日、一日で幾らといった金額の設定でかなり安く、そこによく指摘受けました。信頼できる人に見ていただきたいという点については、まずは通常の遊び場でファミサポを利用してもらうということをしていましたので、お互い信頼を持ってもらうという今回の発表はとても参考になりました。

両班とも、子供によい仕事をさせてくれる、子供たちの力をとても使ってくれている良い提案だと思っています。

皆様にこれらの活動にエールを送りたい。皆様も自分の時間があるのに、このように未来創造塾に入って、2班で2つのテーマを研究されたということは、皆様の大きな成果に繋がっていると思いますし、糧になっていると思います。これからはそれぞれの自治体で仕事をしていくと思いますが、良い仲間、相談できる仲間ができたと思いますし、貴重な経験を得たと思いますので、今後どうか生かしていただきたいと思います。どうもありがとうございました。



政策提案後の取組

地方創生☆政策アイデアコンテスト2025への応募

内閣府が主催する「地方創生☆政策アイデアコンテスト2025」へ応募したところ、A班の「防災」に関する政策提案が「九州経済産業局長賞」を受賞しました！また、九州ブロック代表として最終審査会へ出場し、プレゼンテーションを行いました！

地方創生☆政策アイデアコンテスト2025 「九州経済産業局長賞」表彰式および受賞者プレゼンテーション (令和7年11月28日)

九州経済産業局長より「九州経済産業局長賞」の表彰が行われ、その後プレゼンテーションを行いました！



表彰式



プレゼンテーションの様子

地方創生☆政策アイデアコンテスト2025 最終審査会 (令和7年12月6日)

残念ながら受賞とはなりませんでしたが、廣瀬リーダーより素晴らしいプレゼンテーションが行われました！



プレゼンテーションの様子

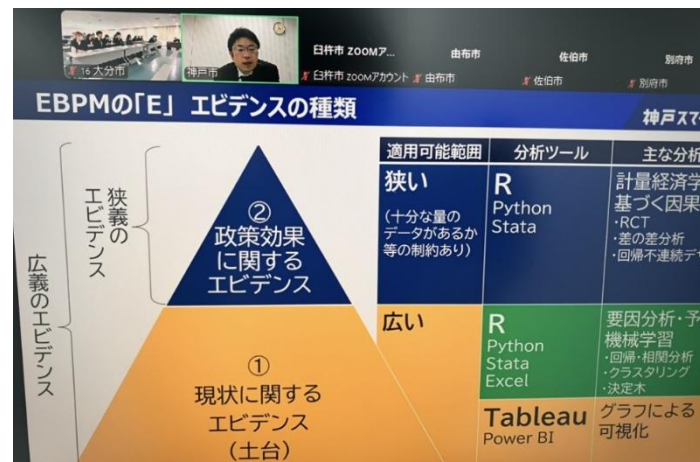


質疑応答の様子

神戸市職員による講演（令和8年2月25日）

第3期塾生の最後の研修として、神戸市企画調整局 大漣 実 様より「行政データの活用と人材育成」と題し、神戸市が進めるデータ利活用やEBPM、デジタル人材育成の取組についてご講演いただきました。

講演には、塾生のほか、大分都市広域圏専門部会「デジタル部会」の職員も参加しました！



講演の様子

「第3期未来創造塾」修了式（令和8年2月25日）

神戸市 大漣 様の講演終了後には、修了式を開催。池見塾長から塾生へ修了証書が手渡されました。塾生のみなさん、2年間の活動、大変お疲れさまでした！！



資料編



Aチーム「Creaita」(クリエイター) プロフィールと感想



【自治体】大分市
【所属】障害福祉課
【氏名】廣瀬 秀志
【入庁年】2015年

■好きなお酒
ザ・マッカラン
トリプルカスク
マチュアードファインオー
ク12年 ボウモア12年

【自己紹介】

大分市役所に入庁して10年目になります。趣味はカフェ巡りです。こだわりのコーヒーと素敵な空間に癒やされながら、至福の時間を過ごしています。

【感想等】

8市町で連携することの難しさと、それ以上に大きな可能性を実感した2年間でした。自治体単独では見落としがちな視点も、8市町が集まり『0から1』を議論することで、より広く、深い政策立案が可能になることを学びました。



【自治体】別府市
【所属】総務課
【氏名】甲斐 大地
【入庁年】令和4年

■最近のマイブームtop5
ゴルフ、ボルダリング、
バドミントン、トマト、
沖縄そば

【自己紹介】

入庁4年目です。社会教育課から総務課に異動し、現在は法規事務等を担当しています。また、市役所のバドミントン部に入部しています。

【感想等】

入庁2年目で未来創造塾に参加したため、当初は不安が大きかったですが、2年間を通して各市町の特色や課題を勉強することができましたし、事業提案までのプロセスを学ぶこともできました。議論を進めていく中で、他市町村の職員とも仲良くなることができ、とても有意義な時間を過ごせたと感じています。



【自治体】臼杵市
【所属】産業観光課
【氏名】橋 俊吾
【入庁年】平成25年

■好きなお酒
ビール、日本酒、焼酎、
ワイン、リキュールなん
でも好きですが、3期
A班とB班の一部で飲む
お酒が一番好きです。

【自己紹介】

入庁12年目です。ソフトテニスやバドミントンなどラケット球技が得意です。市役所大会で会いましょう。

【感想等】

第3期未来創造塾に参加したことで、多くの方と仲間になることができました。困ったときに相談できる仲間が他自治体にもいるというのは、私の今後の自治体職員人生で大きな財産になると思います。



【自治体】津久見市
【所属】会計財務課
【氏名】梶田 正法
【入庁年】令和5年

■好きなひと

妻 家族

【自己紹介】

大分市の生まれ育ちで、ドライブや目的のない旅が趣味です。津久見市に来てからは釣りを覚えました。山より海派です。

【感想等】

採用1年目で未来創造塾に参加させて頂いてから、あっという間の2年でした。他自治体の若手の職員が集まって広域圏内の課題を見出し、その解決策を模索しながら政策提案まで研究し議論するという経験は大変貴重であり、とても有意義な時間でした。今後の業務に活かしていけるよう頑張りたいと思います。

Aチーム「Creoita」(クリエイター) プロフィールと感想



【自治体】竹田市
【所属】建設課
【氏名】久良 伊武希
【入庁年】2019年

■好きな歌手

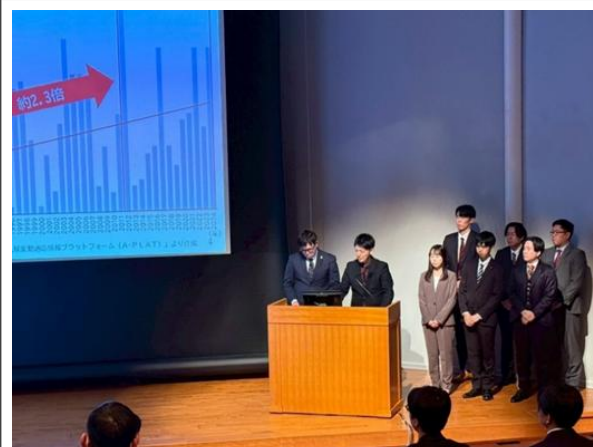
ITZY

【自己紹介】

高校卒業後、竹田市役所に入庁し現在7年目です。建設課にて道路管理業務を担当しています。

【感想等】

政策提案の難しさ・自分の業務との両立など大変なことは多々ありましたが、2年間他市町の仲間とともに最後までやり遂げることができました。とても有意義な時間でした。



【自治体】豊後大野市
【所属】総務課
【氏名】橋本 卓
【入庁年】令和4年度

■好きな路線

好きな路線は豊肥本線です。

【自己紹介】

幼少期はそろばん塾に通っていたため、暗算が得意です。

【感想等】

政策立案は、企画、予算編成等さまざまな仕事のために行われています。組織を越えたチームで取り組むことでいずれの分野においても活躍できるための土台をここで学べました。また、最終資料は、プレゼンテーション等もあり、やがて圏域内の住民にも伝わるものでやりがいがありました。



【自治体】由布市
【所属】総合政策課
【氏名】佐藤 亜美
【入庁年】令和4年

■好きな映画

ハリー・ポッター、
アナと雪の女王、
トイ・ストーリー

【自己紹介】

由布市出身で、入庁して4年目です。愛犬と出かけるのが好きで、休日はドッグランやドッグカフェによく行きます。最近は愛犬グッズを作成して職場に飾って、仕事中に癒されています。

【感想等】

2年間の調査・研究を通して、多くの学びや気づきを得ることができました。課題について考え、意見交換を重ねる中で視野が広がったと感じています。また、他市町の職員の方々と交流できたことも大きな刺激となり、とても楽しい時間でした。この経験を大切にしながら、今後の業務にも生かしていきたいと思えます。



【自治体】日出町
【所属】財政課
【氏名】小林 祐介
【入庁年】令和2年

■好きなサッカーチーム

「大分トリニータ」

【自己紹介】

総務課2年、社会教育課3年、財政課1年で入庁して6年目になります。役場の野球クラブに所属しています。自治労野球大会、1回戦突破できるように頑張ります。

【感想等】

未来創造塾に参加した当初は、政策立案にかかわることが出来るか不安でした。ただ、未来創造塾は若手職員の集まりであり、メンバーがしっかりと意見を聞いてくれます。日程調整等、大変なことも多かったですが、他市職員との絆が深まり、参加して良かったです。

Bチーム「Team Noctas！」（チームノクタス） プロフィールと感想



【自治体】大分市
【所属】生活福祉課
【氏名】中野 亜紀
【入庁年】令和3年

■趣味

- ・ 食べること
- ・ 推しキャラ等のグッズを集めること

【自己紹介】

入庁して5年目になります。現在は生活保護の業務に携わっています。

【感想等】

政策立案のテーマに設定した分野について調査したり、先行事例や課題等を整理したり、普段の業務では担当しないことを行う機会が多く、非常に勉強になりました。また、先進地への視察や各市町に出向いての会議など、未来創造塾に参加したからこそできた経験が多々あり、貴重な時間を過ごすことができました。今回の経験を今後携わる事業に生かしていきたいと思えます。



【自治体】別府市
【所属】教育委員会
学校教育課
【氏名】中田 和哉
【入庁年】令和5年

■好きなこと（趣味）

- ・ ゲーム

【自己紹介】

小～大学生の各種援助制度を担当しています。各家庭との関わりや各種事務の削減等、日々やりがいのある業務に携わっています。

【感想等】

経験年数が最も短く、リーダーが務まるか不安でしたが、班員に支えられ、多くのものを得ることができた貴重な2年間でした。未来創造塾を通じて得た知識や経験を今後の業務にも活かして参ります。



【自治体】臼杵市
【所属】農林振興課
【氏名】大井 智香子
【入庁年】平成30年

■好きな動物

いぬ

【自己紹介】

私は、社会人卒の入庁ですが職種が全く違うため勉強の日々です。そんな中、癒しをくれたのが、ワンコとの旅行で趣味になりました。

【感想等】

私は、担当業務の会議が多いこと等で、なかなか会議に出席することができず、皆さんにはご迷惑をおかけしました。そんな中でも、自分の意見を聞き入れてもらえたり、様々な考え方を知ることができました。そして、皆さんの知識の多さや対応力など尊敬するところばかりで、とてもいい経験になりました。



【自治体】津久見市
【所属】生涯学習課
【氏名】高木 翔大
【入庁年】令和5年

■好きな芸人

アンタッチャブル
ザキヤマ、ブラック
マヨネーズ小杉
おかずクラブゆいP

【自己紹介】

経営政策課2年、生涯学習課1年で入庁して3年目です。趣味は旅行とテレビを見ることです。最近録画したテレビを見ながらグーグルマップで各地の街並みを見ることにはまっています。

【感想等】

最初は、他市町の知らない職員と2年間政策立案をすることに不安を感じておりましたが、班会議や懇親会を重ねるうちに打ち解けることができ、有意義な時間を過ごすことができました。また、班員と1つの目標に向かってデータの収集、政策の分析、先進地視察、資料作り等に取り組み、とても良い経験となり、思い出にもなりました。2年間お世話になりました。

Bチーム「Team Noctas！」（チームノクタス） プロフィールと感想



【自治体】竹田市
【所属】総務課
【氏名】田北 裕哉
【入庁年】平成27年

■好きな映画

ハリーポッター
ワイルドスピード

【自己紹介】

出身は豊後大野市です。竹田市に入庁して11年目になります。税務課、農政課を経て、現在総務課に在籍しています。ラーメンが好きで、常においしいラーメン屋の情報を求めています。

【感想等】

他市町の職員と話し合い、一緒に考えていく機会は非常に貴重で、互いに高めあえる良い経験となったと思います。最初は不安でいっぱいでしたが、終わってみると未来創造塾に参加してよかったと感じています。今回の経験や他市町職員とのつながりを今後活かしていきたいと思っています。



【自治体】豊後大野市
【所属】商工観光課
【氏名】柴谷 孝俊
【入庁年】令和4年

■好きな食べ物

牛タン

【自己紹介】

縁あって中途採用で市役所に入庁し、行政の仕組みや多岐にわたる業務プロセスを一つひとつ吸収し、自身の経験を一日も早く市政に還元できるよう勉強の毎日です。

【感想等】

今回、7市1町での都市広域圏による政策提案の過程を一から経験し、人口減少という喫緊の課題に対し、自治体の枠を超えた「広域連携」がいかに不可欠であるかを強く実感しました。各市町の独自性を尊重しつつも、スケールメリットを常に意識し、圏域全体の経済活性や住民サービスの向上にむけて議論を深めたことは、今後の業務において貴重な経験となりました。



【自治体】由布市
【所属】湯布院振興局
地域振興課
【氏名】利光 一樹
【入庁年】令和4年

■好きなお酒

ウイスキーのハイボールがとにかく好きです。スコッチやバーボンなど種類がありますが、ジャパニーズウイスキーが一番好きです。角ハイ最高です。

【自己紹介】

入庁して4年目です。現在は、湯布院地域のお祭り等のイベントを主に担当しています。イベントを通して、地域の方々と深く関わることができ、とてもやりがいを感じています。

【感想等】

参加を通して、行政職員としての視野が大きく広がりました。各市町の職員との意見交換では、自分にはなかった視点や発想に触れることができ、大変貴重な経験になり、各市町の課題を広域的に考える必要性も学ぶことができました。そして何より、各市町の職員の皆さんとの繋がりができたことが大きな財産となりました。



【自治体】日出町
【所属】社会教育課
【氏名】鳥井田 侑真
【入庁年】令和3年

■好きなもの

音楽、テニス、お酒

【自己紹介】

商工観光課（現まちづくり推進課）に3年、社会教育課2年の入庁5年目です。最近、ドリップコーヒーにハマってしまいました。

【感想等】

2年間、他市町職員と協議を重ね、最終報告会で施策発表まで至ったことは、非常に密度の濃い経験になったと思っており、行政職員としての視野を大きく広げてくれました。事務局の皆様、そしてB班の皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。また宴で会いましょう。

「第3期未来創造塾」塾生名簿（令和8年3月31日時点）

■ Aチーム 「Creoita」（クリエイター）

	自治体	所属	名前	読み仮名
1	大分市	障害福祉課	※リーダー 廣瀬 秀志	ヒロセ シュウジ
2	別府市	総務課	甲斐 大地	カイ ダイチ
3	臼杵市	産業観光課	※副リーダー 橋 俊吾	タチバナ シュンゴ
4	津久見市	会計財務課	梶田 正法	ノギタ マサノリ
5	竹田市	建設課	久良 伊武希	クラ イブキ
6	豊後大野市	総務課	橋本 卓	ハシモト スグル
7	由布市	総合政策課	佐藤 亜美	サトウ アミ
8	日出町	財政課	小林 祐介	コバヤシ ユウスケ

■ Bチーム 「Team Noctas!」（チームノクタス）

	自治体	所属	名前	読み仮名
1	大分市	生活福祉課	中野 亜紀	ナカノ アキ
2	別府市	教育委員会 学校教育課	※リーダー 中田 和哉	ナカタ カズヤ
3	臼杵市	農林振興課	大井 智香子	オオイ チカコ
4	津久見市	生涯学習課	高木 翔大	タカキ ショウタ
5	竹田市	総務課	田北 裕哉	タキタ ユウヤ
6	豊後大野市	商工観光課	柴谷 孝俊	シバタニ タカトシ
7	由布市	湯布院振興局 地域振興課	利光 一樹	トシミツ カズナ
8	日出町	社会教育課	※副リーダー 鳥井田 侑真	トリイダ ユウマ

大分都市広域圏ホームページ

大分都市広域圏では、専用のホームページを開設しています。

「未来創造塾」の取組に加え、大分都市広域圏の取組みや各市町のPR動画等、圏域経済の活性化に資する魅力ある情報発信に努めていますので、是非ご覧下さい。

大分都市広域圏

検索



クリック



【URL】 <http://www.oita-kouikiken.jp/>

大分都市広域圏

ENHANCED BY Google

文字サイズ 小 / 標準 / 大 背景色 白 黒 青

ホーム

大分都市広域圏とは

大分都市広域圏の魅力

連携取組の紹介

市町からのPR動画

人と地域を未来につなぐ大分都市広域圏



イベント



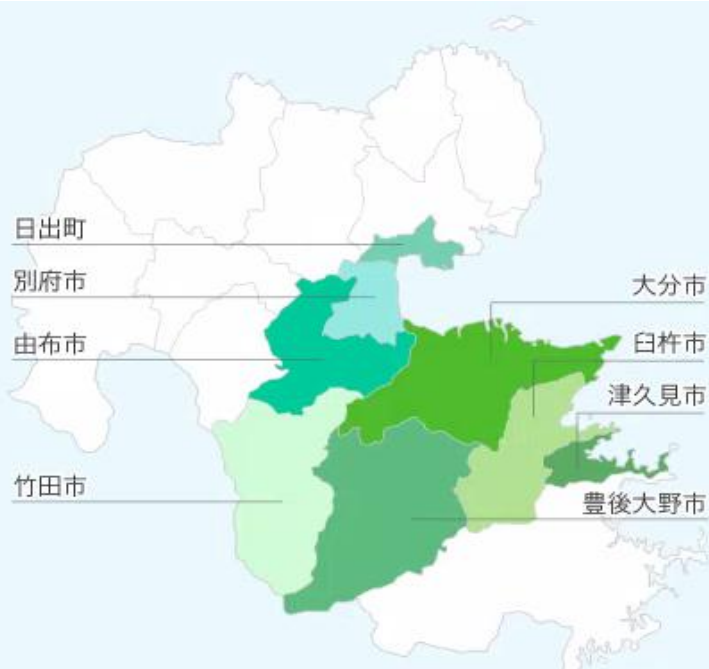
食



観光



移住・定住



- 大分市 >
- 別府市 >
- 臼杵市 >
- 津久見市 >
- 竹田市 >
- 豊後大野市 >
- 由布市 >
- 日出町 >

大分都市広域圏 政策研究チーム「未来創造塾」設置要綱

(設置)

第1条 大分都市広域圏ビジョンに掲げる基本連携項目「人材育成・交流」の推進並びに広域的な課題に関する総合的な調査研究及び施策の提案を行うため、圏域を構成する自治体の若手職員による政策研究チーム「未来創造塾」（以下「政策研究チーム」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 政策研究チームは、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 広域的な課題に関する総合的な調査研究に関すること。
- (2) 広域的な課題に関する施策の提案に関すること。
- (3) その他政策研究チームの目的を達成するために必要な事項。

(組織)

第3条 政策研究チームは、第3項の期間ごとに必要な構成員をもって組織する。

2 構成員は、大分都市広域圏推進会議の会長及び委員がその補助職員（概ね35歳以下の者に限る。）のうちから指名するものとする。

3 前項の指名の期間は、概ね2年とする。

4 構成員の選出方法は、大分都市広域圏推進会議の会長及び委員の判断に委ねるものとする。

5 政策研究チームにリーダー及び副リーダーを置き、構成員の互選により選出する。

6 リーダーは、政策研究チームを代表する。

7 副リーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき、又はリーダーが欠けたときは、その職務を代理する。

(総括等)

第4条 政策研究チームを統括するとともに構成員を指揮監督するため、塾長を配置する。

2 塾長は、大分都市広域圏推進会議の幹事長の職にある者又は幹事長の職にある者が指名する者をもって充てる。

(報告等)

第5条 政策研究チームの推進にあたり、リーダーは塾長に対して定期的に報告を行い、必要に応じて塾長の指示を受けるものとする。

(中間報告及び施策提案)

第6条 政策研究チームにおける中間報告及び施策の提案は、大分都市広域圏推進会議の会議で行うものとする。

(庶務)

第7条 政策研究チームの庶務は、大分市企画部企画課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、政策研究チームの運営に関し必要な事項は、塾長が別に定める。

～ メモ ～

A large rectangular area containing horizontal dashed lines for writing notes.

大分都市広域圏 政策研究チーム「第3期未来創造塾」 2025政策提案報告書

令和8年3月発行

編集・発行 大分市 企画部 企画課 広域連携推進室

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

TEL 097-585-5242

FAX 097-534-6182

E-mail kouiki@city.oita.oita.jp